

【2017年度総括報告】

鳥取県より公益法人として認定を受けて4年目が終わりました。当協会の活動や事業に関しては、鳥取県ろうあ者大会や鳥取県との共催の全国高校生第4回手話パフォーマンス甲子園をはじめ、各種行事を実施してきました。特に、第23回夏季デフリンピック競技大会がトルコのサムスンにて開催され、当協会会員3名が金メダル獲得などの素晴らしい結果を収めてくれました。また、鳥取県内初の手話サークルを主宰され、鳥取県内初の手話通訳者となった塚根泰子氏を40年以上にわたり、きこえない・きこえにくい私たちと共に歩んでこられた功績を讃え、当協会の推薦により、平成29年秋の緑綬褒章受章に繋がったことは大変喜ばしいことでした。各圏域の聴覚障がい者センター及び聴覚障害者就労継続支援センターふくろうに関しては、関係機関と連携しながら、きこえない・きこえにくい人（以下、きこえない人）を支え、県民に対しても、きこえない人に対するコミュニケーション手段の配慮や特性についての理解促進に取り組んできました。これまで、当協会を支えてくださった方々に感謝を申し上げます。今後も一人ひとりが輝くように支援体制を整え、私たちの居場所（城）を確立できるように、きこえない人の支援を充実していきます。

2017年度の当協会会員数は、217名（一般会員146名・高齢会員60名・90歳以上会員2名・学生会員9名）であり、2016年度と比較すると2名減少しました。各圏域のろうあ協会が会員拡大に取り組んでいただき、当協会としても新しい仲間を増やしたいと考えています。また、これまで課題であった賛助会員についても、2018年度より募集することになりました。

2017年12月、国連にて9月23日を「手話言語の国際デー」と宣言する決議が採択されました。手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう、国際レベルで啓発することになります。よって、今年から9月23日が「手話言語の国際デー」として初めて祝うことになります。全日本ろうあ連盟としても、全国の仲間たちと一緒に「手話はいのち、手話は生きる力」という思いを揚げ、決議内容を国内に浸透させ、国内の意識を高めるため、手話言語の普及、手話言語法の早期制定の推進に取り組んでいるところです。

2018年度は、鳥取県手話言語条例に続き、市レベルの手話言語条例の制定に向けた取り組みをはじめ、鳥取県内に「手話マーク・筆談マーク」のコミュニケーションマークの普及に取り組んでいきます。今後もさまざまな事業及び行事を通して、きこえない人の手話言語の獲得や手話言語の自由な使用が保障され、「一人ひとりのきこえない人が自分で選択したコミュニケーション手段による会話が当たり前ができる社会」の実現、きこえない人に対する理解を促進し、「安心して暮らせる社会」を目指すために、鳥取県をはじめ、市町村とともに県下のきこえない人と関係方々が力を出し合い、課題を解決するために、県民とともに取り組んでいきますので引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。

【公益目的事業】

《公-1 聴覚障害者の福祉向上のための事業》

(概要)

当法人は、鳥取県内に在住する聴覚障害者の社会的な自立及び社会参加を促進するとともに、一人ひとりの聴覚障害者が一人の人間として、よりよい豊かな暮らしができる社会の実現を目指すために総合的な支援を実施している。また、聴覚障害者をはじめとして、広く県民の福祉の増進に関する事業を行い、もって社会福祉（共生社会）の発展に寄与している。具体的には、聴覚障害者の社会的な自立及び社会参加を促進するために、聴覚障害者に対する支援、聴覚障害者を支援する人材育成、県民等に対する啓発普及事業に取り組んでいる。

1. 聴覚障害者に対する支援事業

ア) 聴覚障がい者意思疎通支援事業

■西部圏域聴覚障がい者意思疎通支援事業

派遣件数が平成28年度に比べると、利用の多かった方々の転居、病気が快方に向かわれたことなどにより減少した。一方で、要約筆記者等の派遣依頼件数は若干増加しており、今後の更なる利用拡大に期待したい。また、初めて派遣事業を利用される方へは、専任手話通訳者の他に聴覚障がい者相談員が同行する、登録手話通訳者等へは、必要に応じて手話通訳者トレーナーが同行するなど、各事業との役割分担が今まで以上に定着してきた。各センターとも情報共有をより深め、協会の強みである各事業との連携が更になくなった。きこえない・きこえにくい人をはじめ、登録手話通訳者等、各センター、協会にもこの連携を生かし、信頼関係を築いていきたい。

近年、実際に派遣依頼ができる登録手話通訳者等が増えていない現状がある。今後の通訳依頼は、高い専門性を必要とする内容になっていくことも予測できるため、登録手話通訳者等の養成・技術向上は早急に解決しなければならない課題である。これについても、現場の意見を積極的に発信し、人材養成事業とも具体的な検討を行っていききたい。また協会内だけでなく、諸課題を実施主体の行政とも共有し、問題解決を行っていききたい。

専任手話通訳者：2名

登録状況：①手話通訳者及び手話奉仕員 計50名
◇登録手話通訳者 18名（うち手話通訳士 10名）
◇登録手話奉仕員 32名
②要約筆記者及び要約筆記奉仕員 計28名
◇登録要約筆記者 12名
◇登録要約筆記奉仕員 16名

研修会開催実績：西部圏域聴覚障がい者意思疎通支援事業研修会

日 時：平成29年6月17日(土) 9:30～11:30

場 所：米子市公会堂

参加者：25名

内 容：事業説明、意見交換、事例検討

<派遣件数>

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
専任	手話	69	77	81	57	68	54	68	78	52	39	51	63	757
	要約	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
登録	手話	22	35	49	41	39	35	38	39	44	46	59	68	515
	要約	7	2	5	-	1	6	3	3	4	4	5	7	47
合計	99	117	135	98	108	95	109	120	100	89	115	138	1,323	

※参考：2016年度4月～3月…1,494件

■中部圏域聴覚障がい者意思疎通支援事業

派遣件数が平成 28 年度より専任・登録手話通訳者等共にやや減少している。平成 29 年度も医療機関受診に関する依頼が増加している。理由として、きこえない・きこえにくい人の高齢化による受診と手話通訳依頼の定着が考えられる。一方、仕事関係と生活に関する依頼が減少した。平成 28 年度に就職活動を行っていた方が職場定着したこと、鳥取県中部地震関連で復旧が進んだことが理由と思われる。派遣件数は横ばいであるが、登録手話通訳者等の高齢化や平日に依頼できる人の減少など厳しい現状である。登録手話通訳者等の養成・技術向上の為、人材養成事業・手話通訳者トレーナー事業等と連携を強化していきたい。また、派遣実績のない要約筆記については、行政との連携、難聴者の掘り起しも引き続き、実施していきたい。

専任手話通訳者：2 名

登録状況：①手話通訳者及び手話奉仕員 計 30 名
 ◇登録手話通訳者 11 名（うち手話通訳士 4 名）
 ◇登録手話奉仕員 19 名
 ②要約筆記者及び要約筆記奉仕員 計 12 名
 ◇登録要約筆記者 3 名
 ◇登録要約筆記奉仕員 9 名

研修会開催実績：中部圏域聴覚障がい者意思疎通支援事業研修会

日 時：平成 29 年 4 月 22 日（土）9:30～11:30

場 所：琴浦町生涯学習センター

参加者：16 名

内 容：事業説明、意見交換、事例検討

<派遣件数>

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
専任	手話	25	43	34	36	43	56	30	48	36	28	36	30	445
	要約	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
登録	手話	16	9	16	11	21	10	30	11	17	9	20	9	179
	要約	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	41	52	50	47	64	66	60	59	53	37	56	39	624	

※参考：2016 年度 4 月～3 月…649 件

■東部圏域聴覚障がい者意思疎通支援事業

平成 29 年度は、平成 28 年度と比べると大きな変化は見られないが、要約筆記依頼が増加した。緊急依頼件数については、手話通訳・要約筆記ともに増加している。また、聴覚障がい者相談員との連携により、わずかではあるが、新規利用者からの依頼に繋げることもできた。平成 30 年度は、要約筆記の派遣依頼のない地域の行政とも連携を図り、要約筆記利用者の拡大に繋げていきたい。

分野別では、平成 28 年度に引き続き、医療機関受診に関する依頼が一番多く、次いで暮らしに関する依頼が多い。背景には、きこえない人の高齢化による受診や介護関係の増加がある。一方、依頼件数の増加に反し、稼働できる登録手話通訳者等が少ないのが現状である。平成 30 年度は手話通訳者トレーナー事業や人材養成事業との連携を更に強め、稼働できる登録手話通訳者等を増やし、ニーズに沿った安定的な情報保障を目指し、事業を実施していきたい。

専任手話通訳者 2 名

登録状況：①手話通訳者及び手話奉仕員 計 54 名
 ◇登録手話通訳者 25 名（うち手話通訳士 6 名）
 ◇登録手話奉仕員 29 名
 ②要約筆記者及び要約筆記奉仕員 計 36 名
 ◇登録要約筆記者 11 名
 ◇登録要約筆記奉仕員 25 名

研修会開催実績：東部圏域聴覚障がい者意思疎通支援事業研修会

日時：平成 29 年 5 月 13 日（土）9:30～12:00

場所：鳥取県立福祉人材研修センター

参加者：40 名

内容：事業説明、意見交換、事例検討

<派遣件数>

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
専任	手話	83	69	105	106	78	68	94	82	118	92	80	101	1,076
	要約	-	-	-	-	1	-	1	1	-	2	-	-	5
登録	手話	193	149	139	152	123	116	150	143	128	141	147	157	1,738
	要約	2	6	4	4	3	7	1	5	5	4	5	12	58
合計		278	224	248	262	205	191	246	231	251	239	232	270	2,877

※参考：2016 年度 4 月～3 月…2,842 件

■手話通訳者派遣事業（団体）

手話通訳者派遣が平成 28 年度と比べて減少したが、要約筆記者派遣は増加した。原因は、連続性のある講座などにきこえない人の参加がなくなったことが考えられる。ただ、依頼内容は専門分野に特化した内容やパネルディスカッションなどの形式が多様化している。現場での課題や留意点をコーディネーター間で共有し、人材養成事業との連携を深めていきたい。

<派遣件数>

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話		59	54	72	75	72	83	100	101	75	63	72	71	897
要約		4	10	19	20	19	22	19	30	13	11	15	12	194
合計		63	64	91	95	91	105	119	131	88	74	87	83	1,091

※参考：2016 年度 4 月～3 月…1,233 件

イ) 聴覚障がい者相談員設置事業

平成 29 年度の特徴は、きこえない・きこえにくい人の高齢化による医療面並びに生活面での支援の増加、障害者差別解消法の合理的配慮不提供による対処の増加が見られた。また、継続支援が必要なケース、コミュニケーションエラーによる家族関係の歪みへの支援が必要なケースなどもある。きこえない・きこえにくい人が一人ひとり安心して暮らせるよう対応しているところである。課題を踏まえて、より良い支援をするため、相談支援の資質向上に努めていきたい。

<相談件数>

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部		68	61	56	81	65	66	60	64	61	85	80	76	823
中部		57	60	63	77	68	76	79	72	72	60	64	72	820
西部		41	97	81	73	87	87	81	67	55	59	77	72	877
合計		166	218	200	231	220	229	220	203	188	204	221	220	2,520

※参考：2016 年度 4 月～3 月…2,640 件

■鳥取県聴覚障がい者相談員連絡協議会

鳥取県聴覚障がい者相談員連絡協議会のメンバーが変わり、聴覚障がい者相談員の資質向上のために、研修実施・事例検討・情報交換等を行った。福祉サービス提供や社会資源の整備のプロセス、きこえない・きこえにくい人への支援体制の充実に向けて取り組んでいる。一ヶ月に1回のペースで開催した。

ウ) 聴覚障がい者生活支援事業

■中部圏域聴覚障がい者生活支援事業

平成 29 年度は、全国ろうあヘルパー連絡協議会の企画で、中部地震で被災した仲間を元気づけようと、手作り弁当やゲームで温かいつながりを感じる交流があった。また、当協会の法人事務局、西部聴覚障がい者センター、聴覚障害者就労継続支援センターふくろうの見学では、仲間や職員と久し振りに会い、懐かしい思い出話もできたようだ。教養学習では「あいサポート条例」について学んだ。自分が経験した困りごとや、その時の対応について話す人、また困っている人を助けた人もいた。自己発信することや、誰かのサポートができることを話し合った。今後も地域や関係機関と連携し、仲間の自立を尊重しながら支援していきたい。

【委託元】中部圏域1市4町（倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町）

【回数・時間】24回 10時～14時

【場所】倉吉市成徳公民館 他

【登録人数】19名

回数	実施計画	参加人数	内容
第 1 回	4 月 21 日（金）	8 名	オリエンテーション／翌月の取組み相談
第 2 回	4 月 28 日（金）	9 名	1年間の計画相談／ゲーム・ボーリング
第 3 回	5 月 12 日（金）	9 名	レクリエーション／翌月の取組み相談
第 4 回	5 月 26 日（金）	6 名	ハイキング／手話学習
第 5 回	6 月 9 日（金）	8 名	健康学習「生活習慣病」／翌月の取組み相談
第 6 回	6 月 23 日（金）	7 名	創作活動
第 7 回	7 月 7 日（金）	9 名	栄養学習（調理）／翌月の取組み相談
第 8 回	7 月 29 日（土）	13 名	全国ろうあヘルパー連絡協議会との交流会
第 9 回	8 月 4 日（金）	9 名	健康学習「高血圧について」／翌月の取組み相談
第 10 回	8 月 25 日（金）	6 名	教養学習「日本から見た中国体験記」／ゲーム・紙ひこうき飛ばし
第 11 回	9 月 8 日（金）	8 名	栄養学習（調理）／翌月の取組み相談
第 12 回	9 月 29 日（金）	7 名	レクリエーション／おしゃべり
第 13 回	10 月 12 日（木）	8 名	バス外出「東部との交流会」
第 14 回	10 月 27 日（金）	7 名	防災学習／翌月の取組み相談
第 15 回	11 月 10 日（金）	8 名	教養学習「あいサポートについて」／翌月の取組み相談
第 16 回	11 月 17 日（金）	9 名	バス外出「鳥取県聴覚障害者協会（西部）の見学」
第 17 回	12 月 1 日（金）	9 名	教養学習「手話学習」／翌月の取組み相談
第 18 回	12 月 15 日（金）	5 名	クリスマス会「リース作り」／翌月の取組み相談
第 19 回	1 月 12 日（金）	8 名	レクリエーション「新年会を楽しもう」／すごろく
第 20 回	2 月 9 日（金）	7 名	レクダンス／翌月の取組み相談
第 21 回	2 月 23 日（金）	6 名	新聞作り
第 22 回	3 月 2 日（金）	6 名	福ろうの家耳の日集会／ボッチャ
第 23 回	3 月 9 日（金）	6 名	創作活動（ちぎり絵）／創作活動（ちぎり絵）
第 24 回	3 月 16 日（金）	7 名	ちぎり絵・1年間の振り返り／来年度の取組みについて

その他

【スタッフ会議】13回【合同スタッフ会議】1回(6/14)【スタッフ学習会】2回(8/6)(1/14)

■東部圏域聴覚障がい者生活支援事業

当事業が始まり4年が経ち、平成29年度はスタッフが数名変わった。新しいスタッフに対して仲間は快く受け入れており、平成28年度と同様に積極的な活動をしている様子が見られた。特に、調理実習は仲間が張り切って参加をしている。自分たちが作った料理を美味しくいただくと同時に、栄養に関する学習も行った。

平成30年度は、仲間からの強い要望で登録人数を増やし、引き続き魅力のある事業を行っていくことが目標である。目標に向かって仲間とスタッフが一緒に話し合いを進め、仲間の更なる力を引き出していきたい。

【委託元】東部圏域1市4町(鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)

【回数・時間】24回 10時～14時

【場所】さわやか会館 他

【登録人数】33名

回数	実施期日	参加人数	内容
第1回	4月13日(木)	21名	オリエンテーション/翌月の取組み相談
第2回	4月27日(木)	19名	創作活動/10分間ニュースのタイトル決め
第3回	5月11日(火)	17名	避難訓練/翌月の取組み相談
第4回	5月25日(木)	24名	バス外出(白兔グラウンドゴルフ場)
第5回	6月8日(木)	23名	尾田相談員と話そう/翌月の取組み相談
第6回	6月22日(木)	24名	調理実習・七夕飾り作り/食べたもの10食品群チェック
第7回	7月13日(木)	24名	情報交換会(ライブラリーの説明)/翌月の取組み相談
第8回	7月27日(木)	27名	調理実習/食べたもの10食品群チェック
第9回	8月10日(木)	20名	創作劇の相談/翌月の取組み相談
第10回	8月24日(木)	19名	創作劇の練習/創作劇の発表
第11回	9月14日(木)	16名	情報交換会(頭の体操)/翌月の取組み相談
第12回	9月28日(木)	22名	バス外出(船岡竹林公園)
第13回	10月12日(木)	21名	中部との交流会/楽しく話そう
第14回	10月26日(木)	19名	石橋事務局長のお話しを聞こう/局長と話そう
第15回	11月9日(木)	18名	創作活動/翌月の取組み相談
第16回	11月16日(木)	28名	からだを動かそう/らくだなんでもニュース
第17回	12月7日(木)	19名	情報交換会(毎日続けてしている事)/翌月の取組み相談
第18回	12月21日(木)	22名	クリスマス会(ケーキ作り)
第19回	1月18日(木)	23名	正月を祝う会/今年の抱負発表
第20回	2月22日(木)	21名	創作活動/翌月の取組み相談
第21回	3月1日(木)	17名	健康講座「歯についてのお話し」/らくだなんでもニュース
第22回	3月8日(木)	21名	耳の日ミニ集会/らくだなんでもニュース
第23回	3月15日(木)	20名	からだを動かそう/らくだ新聞作り
第24回	3月22日(木)	17名	来年度に向けて/1年を振り返って

その他

【スタッフ会議】13回【合同スタッフ会議】1回(6/14)【スタッフ学習会】2回(8/6)(10/18)

エ) 聴覚障害者就労継続支援事業

■聴覚障害者就労継続支援センターふくろう(就労継続支援B型事業)

平成28年度に引き続き、仲間の高齢化などに伴う影響を大きく受けた。平均年齢は71歳を超え、体調の考慮を必要とする方が増え、利用率がさらに減少した。施設外就労では、体力的に前年同様のことができにくくなった作業もあった。しかしながら、4年目を迎えるこの年に、鳥取県内唯一の事業であることを改めて実感する出来事もあった。ろう学校卒業後に入所を希望する生徒の職場体験学習の受け入れをした。若いきこえない・きこえにくい人たちの進路先としても求められる事業所となり、今後の役割の重大さを実感している。

作業面では、平成27年度から3年間に渡り、県教育委員会から受注した指文字タペストリー製作が平成29年度を持って終了した。鳥取県内131ヶ所の小学校・特別支援学校へ計133部の納品をした。仲間たちの技術と力で、指文字タペストリーを通して、きこえない・きこえにくい人たちの存在を、広く県内の児童・教職員・地域住民に届けることができた。

鳥取県障害者就労事業振興センターをはじめ、県農福連携事業など、各方面から新たな作業の紹介が頻繁に来るようになった。指文字タペストリーをはじめとした自主製品の製作や受託作業での、仲間たちの丁寧で速く良質な仕上がりが、確実に広く社会に評価され始めている。

【日時】月曜日～金曜日 10時～15時

【場所】鳥取県米子市義方町11-39 聴覚障害者就労継続支援センターふくろう内

【定員】20名

<利用実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録利用者 人数(人)	14	14	14	13	13	13	13	12	12	12	12	13
開所 日数(日)	21	21	25	20	22	21	21	21	19	18	18	21
利用人数 (人)	130	136	144	120	124	112	123	96	105	91	100	125
利用率 (%)	44.2	46.3	41.1	46.2	43.4	41.0	45.1	38.1	46.1	42.1	46.3	45.8

利用率の算出方法…利用人数÷(開所日数×登録利用者人数)

【作業内容】生産活動…自主製品製作、販売、

受託作業(フルーツキャップ折り、チラシのホチキス止め、
ハブ茶の実の取り出し、平ゴム結び)

施設外就労…県農福連携事業での受託業務

オ) 字幕映像ライブラリー事業

この事業を知っていただくために、東部聴覚障がい者センターの取組みとして、東部圏域聴覚障がい者生活支援事業「らくだの会」に参加し、仲間のみなさんにライブラリーの借り方や、いろいろな機器で観ることができることなど、実際の映像と一緒に観ながら説明を行い、啓発に努めた。

以前は、字幕のみのDVDが多かったが、最近入荷するDVDには手話、字幕を選択できるものが増え、より良くなってきている。毎月発行しているとり聴協新聞のライブラリーだよりを通じて、今後も啓発活動に努めていきたい。

<月別貸出本数>

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部	2	20	23	12	26	5	6	23	9	5	7	5	143
中部	-	10	6	2	-	-	1	2	1	-	3	-	25
西部	5	3	1	3	8	5	3	3	1	-	-	-	32
合計	7	33	30	17	34	10	10	28	11	5	10	5	200

※参考:2016年度4月～3月…185件

<ライブラリー利用登録者数>

	2016年度登録者数			2017年度新規登録者数			2017年度退会者数			2017年度登録者数		
	きこえない・きこえにくい人	その他	合計	きこえない・きこえにくい人	その他	合計	きこえない・きこえにくい人	その他	合計	きこえない・きこえにくい人	その他	合計
東部	21	24	45	-	4	4	-	-	-	21	28	49
中部	12	6	18	-	-	-	-	-	-	12	6	18
西部	25	13	38	1	-	1	-	-	-	26	13	39
合計	58	43	101	1	4	5	-	-	-	59	47	106

カ) 聴覚障害者用情報機器貸出事業

平成28年度より減少したが、圏域ごとの偏りが少なくなった。少しずつであるが認知が広がっている。今後も難聴者の掘り起こしと合わせて周知を図るとともに、申込みしやすい方法の工夫を考えていきたい。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部	-	1	1	-	-	-	1	1	-	-	-	1	5
中部	-	4	5	3	2	-	2	-	-	-	1	-	17
西部	2	1	4	1	1	2	-	2	1	1	2	2	19
合計	2	6	10	4	3	2	3	3	1	1	3	3	41

※参考:2016年度4月～3月…50件

キ) ICT遠隔手話通訳・電話リレーサービス

事業内容の周知を引き続き行った結果、新規の登録が増えた。しかし、登録者は増えつつも実際の件数は伸び悩み、平成28年度とほぼ横ばいの件数となった。特に、全日本ろうあ連盟主催「電話リレーサービス普及啓発のための学習会」を実施し、県内外から46名の参加があった。また、オペレーター担当者が研修として「電話通信サービスのユニバーサル化を考える大学学習会」に参加し、社会の動向や諸外国の現状を知ることができた。今後は、利便性をより分かりやすく伝えるための周知方法等を再検討していきたい。

<利用実績>

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
遠隔	4	2	5	2	3	2	3	1	4	2	4	2	34
リレー	36	26	53	38	42	33	40	33	42	19	18	29	409
合計	40	28	58	40	45	35	43	34	46	21	22	31	443

※参考:2016年度4月～3月…488件

<内訳> (4月～3月)

	医療機関	自治体	教育機関	金融機関	勤務先	福祉	地域	ライフライン	家族・親戚	郵便・宅配	小売業者	飲食店	宿泊施設・公共施設	公共交通機関	その他	合計
遠隔	2	0	0	1	0	15	0	0	0	0	3	0	7	3	3	34
リレー	59	12	24	7	0	38	8	3	14	19	105	13	51	49	7	409
合計	61	12	24	8	0	53	8	3	14	19	108	13	58	52	10	443

ク) 手話通訳者トレーナー事業

手話通訳者トレーナーの実績は、ほぼ平成 28 年度と同様で安定した対応ができたが、事前に計画的な業務ができず、学習会や現場同行などの準備が直近になってしまったので、改善していきたい。平成 28 年度のトレーナー学習会参加者より学習時間が足りないとの声が多く、1 回の学習時間を 2 時間から 3 時間に変更した。企画内容は、きこえない人（ろう者）に伝わる手話表現を目標に、イラストを使ったイメージ化を図る学習方法を取り入れ、参加者より好評を得ることができた。

<現場同行・研修等の支援実績>

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
トレーナー稼働件数	現場同行	3	9	6	13	11	9	7	6	12	6	10	5	97
	研修等の支援	-	-	-	6	6	-	4	2	-	2	-	4	24
	合計	3	9	6	19	17	9	11	8	12	8	10	9	121
対応登録者数	通訳者	1	9	6	12	20	7	3	7	14	7	2	12	100
	奉仕員	2	9	2	33	38	7	21	10	3	13	19	13	170
	合計	3	18	8	45	58	14	24	17	17	20	21	25	270

※参考：2016 年度 4 月～3 月…120 件、254 名

2. 聴覚障害者を支援する人材育成事業

ア) 手話通訳者養成研修事業

■手話通訳者養成講習会

平成 29 年度より手話通訳Ⅲがスタートした。手話通訳現場実習など、今まで経験したことのない内容もあり、講師には戸惑いがあったものの、受講者には好評であった。今後も、講師間での学習を深めつつ指導にあたりたい。手話通訳Ⅰと手話通訳Ⅱは受講者も少なく、また修了率も低かった。原因と課題を分析し、受講者増や修了者増に繋げていきたい。

【手話通訳Ⅰ】

地域	会場	実施期間	回数	受講人数	修了人数
東部	県立福祉人材研修センター 県立倉吉体育文化会館 県立倉吉未来中心	7月12日(水)～ 2月28日(水) ※集中講座4回	35回	5名	4名
西部	米子コンベンションセンター 米子市福祉保健総合センターふれあいの里 県立倉吉体育文化会館 県立倉吉未来中心	7月11日(火)～ 3月6日(火) ※集中講座3回	35回	6名	1名

【手話通訳Ⅱ】

地域	会 場	実施期間	回数	受講人数	修了人数
東部	県立福祉人材研修センター 県立倉吉体育文化会館	4月20日(木)～ 11月9日(木) ※集中講座5回	33回	6名	3名
西部	米子コンベンションセンター 米子市福祉保健総合センターふれあいの里 県立倉吉体育文化会館	4月18日(火)～ 11月7日(火) ※集中講座4回	33回	6名	2名

【手話通訳Ⅲ】

地域	会 場	実施期間	回数	受講人数	修了人数
中部	県立倉吉体育文化会館 倉吉市上井公民館	6月12日(月)～ 11月7日(火)	11回	8名	7名

■手話通訳者養成講習会講師学習会

平成29年度よりスタートした手話通訳Ⅲの指導方法を中心に学習を深めた。担当講師は積極的に参加し、それぞれ工夫を凝らした指導方法を持ち寄って、より良い指導方法について意見交換ができた。

回数	会 場	開催日	参加者数
1	県立倉吉体育文化会館	4月24日(月)	9名
2	県立倉吉体育文化会館	5月15日(月)	8名
3	県立倉吉体育文化会館	6月19日(月)	8名
4	県立倉吉体育文化会館	8月28日(月)	6名
5	県立倉吉体育文化会館	9月11日(月)	6名
6	県立倉吉体育文化会館	10月23日(月)	5名

■手話通訳者養成講習会講師団会議

年3回の実施だったが、講師間の連絡網で日頃から情報共有ができたおかげで、講座での課題など短時間の会議でも集中して協議することができた。

平成29年度は、講師が2名辞退したため講師の負担が増える結果となったが、補助講師が2名加入したので補助講師の養成に力を入れ、講師増を目指していきたい。

回数	会 場	開催日	参加者数
1	県立倉吉体育文化会館	4月12日(水)	9名
2	県立倉吉体育文化会館	8月22日(火)	9名
3	県立倉吉体育文化会館	1月16日(火)	11名

■登録手話通訳者現任研修会

平成 29 年度も技術面のみならず、事例検討で通訳現場の悩みなどを話し合う場を設けた。地域のきこえない人の手話を学ぶ時間も作り、参加者には大変好評であった。平成 30 年度も引き続き、きこえない人の手話をもっと学べる企画を考えていきたい。

回数	会 場	開催日	参加者数
1	琴浦町生涯学習センターまなびタウンとうはく	4 月 22 日(土)	44 名
2	県立福祉人材研修センター	5 月 13 日(土)	14 名
3	米子市公会堂	6 月 17 日(土)	7 名
4	県立倉吉体育文化会館	7 月 22 日(土)	17 名
5	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	8 月 19 日(土)	2 名
6	県立福祉人材研修センター	9 月 27 日(水)	11 名
7	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	10 月 20 日(金)	4 名
8	伯耆しあわせの郷	11 月 11 日(土)	18 名
9	県立福祉人材研修センター	12 月 16 日(土)	12 名
10	県立倉吉体育文化会館	1 月 27 日(土)	5 名

■鳥取県登録手話通訳者選考試験

手話通訳者の派遣調整が大変であり、即戦力となる手話通訳者が求められているものの、平成 29 年度も合格者は 1 名だった。手話奉仕員養成から一貫して、講師間で手話通訳者を育てることを目標に指導方法を共有していかなくてはいけない。

<試験日：12 月 2 日（土）10:00～14:30>

地域	会 場	申込者数	受験者数	合格者数
中部	県立倉吉未来中心	14 名	14 名	1 名

イ) ステップアップ研修事業

■ステップアップ講座

平成 29 年度は、一定の目標レベル（手話技術認定試験合格レベル）を定めて指導にあたった。一人ひとりのレベルに合わせた丁寧な指導は難しい面があるが、受講者同士で協力し合いながら学習する様子が見られた。

地域	会 場	実施期間	回数	受講人数	修了人数
東部	県民ふれあい会館 鳥取市人権交流プラザ	11 月 22 日(水)～ 3 月 14 日(水)	15 回	28 名	20 名
中部	県立倉吉体育文化会館 県立倉吉未来中心 倉吉市人権文化センター	11 月 16 日(木)～ 3 月 15 日(木)		14 名	7 名
西部	米子コンベンションセンター 米子市福祉保健総合センターふれあいの里	11 月 21 日(火)～ 3 月 13 日(火)		23 名	13 名

■ステップアップ講座講師団会議

平成 29 年度の手話技術認定試験の結果を踏まえ、手話奉仕員を増やすことを目標に、講師間で指導方法を共有した。

回数	会 場	開催日	参加者数
1	倉吉市上井公民館	11月8日(水)	9名
2	倉吉市上井公民館	3月22日(木)	7名

■鳥取県手話技術認定試験

平成 28 年度の受験者 38 名を更新し、過去最高の 40 名が受験した。合格者 8 名のうち 7 名が手話奉仕員に登録し、手話通訳者養成講座【手話通訳 I】を受講された。

<試験日：5月27日(土)9:00~12:30>

地域	会 場	申込者数	受験者数	合格者数
東部	県立福祉人材研修センター	14名	14名	3名
中部	県立倉吉未来中心	14名	13名	4名
西部	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	13名	13名	1名
合 計		41名	40名	8名

ウ) 手話奉仕員養成研修事業

年々受講者数が減っており、平成 28 年度に続き中部圏域は特に少なかったが、全体的に積極的に学ぶ姿が見られた。平成 30 年度は、周知方法や受講案内チラシを再検討していきたい。

■入門編

地域	会 場	実施期間	回数	受講人数	修了人数
東部	県民ふれあい会館	10月3日(火)~ 3月6日(火)	21回	31名	26名
中部	県立倉吉体育文化会館 県立倉吉未来中心 倉吉市人権文化センター	10月5日(木)~ 3月15日(木)		6名	6名
西部	米子コンベンションセンター 米子市福祉保健総合センターふれあいの里 米子サン・アビリティーズ	9月28日(木)~ 3月8日(木)		23名	15名

■基礎編

地域	会 場	実施期間	回数	受講人数	修了人数
東部	県民ふれあい会館 鳥取市人権交流プラザ	4月12日(水)~ 10月11日(水)	25回	33名	26名
中部	県立倉吉体育文化会館 県立倉吉未来中心	4月6日(木)~ 9月28日(木)		10名	6名
西部	米子コンベンションセンター 米子市福祉保健総合センターふれあいの里	4月13日(木)~ 10月5日(木)		24名	20名

■手話奉仕員養成講習会講師研修会

【東部会場】

回数	会場	開催日	参加者数
1	さわやか会館	4月3日(月)	10名
2	さわやか会館	5月16日(火)	9名
3	さざんか会館	6月29日(木)	8名
4	さざんか会館	8月31日(木)	8名
5	さわやか会館	9月29日(金)	7名
6	さわやか会館	11月17日(金)	8名
7	さわやか会館	1月12日(金)	7名
8	さわやか会館	3月20日(火)	9名

【中部会場】

回数	会場	開催日	参加者数
1	県立倉吉体育文化会館	4月4日(火)	6名
2	県立倉吉体育文化会館	5月18日(木)	6名
3	県立倉吉体育文化会館	7月31日(月)	7名
4	県立倉吉体育文化会館	8月31日(木)	6名
5	県立倉吉体育文化会館	10月3日(火)	6名
6	倉吉市上井公民館	11月14日(火)	5名
7	県立倉吉体育文化会館	1月30日(火)	5名

【西部会場】

回数	会場	開催日	参加者数
1	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	4月6日(木)	4名
2	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	5月9日(火)	5名
3	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	6月13日(火)	6名
4	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	7月11日(火)	4名
5	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	9月12日(火)	4名
6	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	10月3日(火)	5名
7	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	11月14日(火)	4名
8	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	12月14日(木)	3名
9	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	2月13日(火)	5名

■登録手話奉仕員現任研修会

回数	会場	開催日	参加者数
1	琴浦町生涯学習センターまなびタウンとうはく	4月22日(土)	27名
2	米子市公会堂	1月25日(木)	7名
	県立倉吉体育文化会館	1月27日(土)	15名
	県立福祉人材研修センター	1月29日(月)	13名

エ) 要約筆記者養成研修事業

現任研修会が10回に増えたことで、パソコン・手書きコース別での開催、県外講師による講義を実施できた。また、講師学習会、指導者研修受講者による伝達講習会を新規事業として実施した。講師団の指導力の向上と情報共有を図ることができた。

■要約筆記者養成講習会

実施地区	実施期間	回数	受講者（修了者）	会 場
東部	6月10日（土） ～12月2日（土）	20回	手書き 6名（5名）	県立福祉人材研修センター
			パソコン 10名（8名）	
西部	6月6日（火） ～11月28日（火）	20回	手書き 2名（2名）	米子市福祉保健総合センター ふれあいの里
			パソコン 3名（2名）	

■要約筆記者養成講習会講師団会議

回数	会 場	開催日	参加者数
1	北栄町大栄農村環境改善センター	4月14日（金）	14名
2	琴浦町生涯学習センターまなびタウンとうはく	4月22日（土）	18名
3	伯耆しあわせの郷	12月9日（土）	9名

■鳥取県登録要約筆記者選考試験

実施日：平成30年2月18日（日） 13:00～15:30

会 場：県立倉吉未来中心

受験者：①手書き…9名 ②パソコン…10名 ③両方…1名 計20名

合格者：手書き…2名 パソコン…5名

■要約筆記者・要約筆記奉仕員現任研修会

回数	会 場	開催日	参加者（コース）
1	琴浦町生涯学習センターまなびタウンとうはく	4月22日（土）	52名（合 同）
2	伯耆しあわせの郷	5月20日（土）	34名（合 同）
3	県立倉吉体育文化会館	7月1日（土）	17名（パソコン）
4	伯耆しあわせの郷	7月29日（土）	16名（手 書 き）
5	伯耆しあわせの郷	8月26日（土）	31名（合 同）
6	県立倉吉体育文化会館	9月19日（火）	11名（パソコン）
7	伯耆しあわせの郷	11月17日（金）	11名（手 書 き）
8	伯耆しあわせの郷	12月9日（土）	8名（パソコン）
9	県立倉吉体育文化会館	1月13日（土）	10名（手 書 き）
10	伯耆しあわせの郷	2月3日（土）	21名（合 同）

■要約筆記者養成講習会講師学習会

回数	会 場	開催日	参加者
1	伯耆しあわせの郷	5月20日(土)	16名
2	伯耆しあわせの郷	7月29日(土)	12名
3・4	伯耆しあわせの郷	8月27日(日)	14名

■要約筆記指導者養成研修受講者による伝達講習会

回数	会 場	開催日	参加者
1	県立倉吉体育文化会館	1月20日(土)	11名

オ) 鳥取県聴覚障がい者福祉研修会

きこえない・きこえにくい人に関わる支援者の参加数が年々増えてきている。講演の講師である森せい子氏は、同じ聴覚障害でも個々で違う、その人に合わせた支援の大切さ、またきこえない・きこえにくい人の生い立ち、環境を知る大切さを説いていただいた。第1分科会は、これまでの相談支援実践での具体例を交えながら対人援助技術の基礎から演習まで丁寧に説明いただき、参加者も熱心に学んでいた。第2分科会は、グループ分けして事例を提示し、それぞれ自分の立場での積極的な意見があり、さまざまな角度からの見方・考え方を学ぶことができた。このような研修会を通して、きこえない・きこえにくい人、一人ひとりに合った支援方法を考えることができる支援者が増える必要がある。

日 程：平成29年8月6日(日) 10:00~15:00

会 場：鳥取県立福祉人材研修センター

内 容：■講演『聴覚障害の特性に合わせた支援とコミュニケーション

～障害を重複するかたに焦点を当てて～』

講師：森 せい子 氏(社会福祉法人聴力障害者情報文化センター 施設長)

■第1分科会 「対人援助研修」

講師：前田 啓喜 氏(一般社団法人鳥取県社会福祉福祉士会)

■第2分科会 「聴覚障害者の事例検討」

講師：森 せい子 氏(社会福祉法人聴力障害者情報文化センター 施設長)

■参加者：60名

3. 県民等に対する啓発普及事業

ア) 鳥取県手話フォーラム

テレビなどで知名度の高い早瀬憲太郎氏の講演は、音のない世界をわかりやすい手話で話され、手話になじみのない参加者の心もつかんでいた。早瀬氏の活動から、情報の整備の必要ときこえない人のためだけでなく、誰にでも優しい、社会を作る大切さを県民に知らせることができた。午後からの大阪パントマイムグループの公演は、手話を知らない人にも、動きで笑いを誘い、観客はきこえない世界を表現する舞台に引き込まれていた。

日 程：平成29年11月5日(日)

会 場：米子コンベンションセンター

内 容：■講演「音のない世界に生きて」 講師：早瀬 憲太郎 氏

■アトラクション

「パントマイム」

出演者：大阪パントマイムグループ(芳本光司氏・田中慎吾氏)

「とっとりの手話を創り、守り、伝える事業の成果発表」

発表者：とっとりの手話を創り、守り、伝える事業委員会

■参加者：195名

イ) 県民向けミニ手話講座開催事業

7月から12月までを開催期間とし、親子ミニ手話講座は夏休みに向けて県下の小学校に案内チラシを配布した。申込方法の簡素化、案内チラシを写真入りに変更したこともあり受講者が増えた。

■親子ミニ手話講座

地域	会場	開催日	時間	受講者数(子ども)
東部	県立福祉人材研修センター	8月26日(土)	10:30~12:00	15名(9名)
	鳥取市人権交流プラザ	10月20日(金)	19:00~20:30	6名(4名)
	鳥取市人権交流プラザ	11月18日(土)	10:30~12:00	0名(0名)
中部	県立倉吉未来中心	8月5日(土)	10:30~12:00	31名(18名)
	北栄町中央公民館大栄分館	9月9日(土)	10:30~12:00	0名(0名)
	県立倉吉未来中心	11月25日(土)	10:30~12:00	2名(1名)
西部	ヴィレステひえづ	8月19日(土)	10:30~12:00	24名(13名)
	米子コンベンションセンター	9月16日(土)	10:30~12:00	16名(10名)
	県立夢みなとタワー	12月9日(土)	10:30~12:00	12名(7名)

■3回連続ミニ手話講座

地域	会場	開催日	時間	受講者数
東部	とりぎん文化会館	7月25日(火)	19:00~21:00	6名
		8月1日(火)		8名
		8月8日(火)		7名
	県立福祉人材研修センター	9月22日(金)	13:30~15:30	6名
		9月29日(金)		7名
		10月6日(金)		7名
	県民ふれあい会館	12月1日(金)	13:30~15:30	15名
		12月8日(金)		16名
		12月15日(金)		17名
中部	県立倉吉未来中心	8月2日(水)	13:30~15:30	15名
		8月9日(水)		13名
		8月16日(水)		10名
	北栄町中央公民館大栄分館	10月10日(火)	19:00~21:00	2名
		10月17日(火)		1名
		10月24日(火)		2名
	ハワイアロハホール	12月6日(水)	13:30~15:30	3名
		12月13日(水)		3名
		12月20日(水)		3名
西部	ヴィレステひえづ	7月14日(金)	13:30~15:30	7名
		7月21日(金)		4名
		7月28日(金)		4名

	米子コンベンションセンター	9月1日(金)	19:00~21:00	21名
		9月8日(金)		20名
		9月15日(金)		17名
	県立夢みなとタワー	11月10日(金)	19:00~21:00	9名
		11月17日(金)		9名
		11月24日(金)		8名

■ミニ手話講座講師会議

【東部会場】

回数	会場	開催日	参加者数
1	さわやか会館	5月12日(金)	14名
2	さざんか会館	3月8日(木)	16名

【中部会場】

回数	会場	開催日	参加者数
1	県立倉吉体育文化会館	5月17日(水)	9名
2	県立倉吉体育文化会館	3月8日(木)	6名

【西部会場】

回数	会場	開催日	参加者数
1	米子コンベンションセンター	5月25日(木)	12名
2	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	3月13日(火)	12名

【収益事業等】

《収一 1 出版物等普及事業》

大学、専門学校などはこれまでのとおり発注を受けているが、出版物の販売現場では、新しい手話 2018、道～ろうあ運動を支えた人びと～、DVD（段また段を成して）の売上状況が良かった。デフリンピックの応援グッズの3色ボールペン、タオル、ピンバッジを完売した。

2016年度に比べて、全日本ろうあ連盟70年史の販売があり全体的には売り上げが上がっているが、個々の売り上げが落ちている。全国高校生手話パフォーマンス甲子園のときに、タオルを値下げして販売したが、なかなか売れず、値下げの効果がなかった。タオルの在庫が約300枚あるが、今後の販売方法を再検討していきたい。

2017年度年間売上ベスト20

順位	書 籍 名	販売冊数 (本)	売上金額 (円)
1	聴さんと学ぼう	314	305,208
2	わたしたちの手話学習辞典Ⅰ	279	783,432
3	手話を学ぼう手話で話そう	160	518,400
4	新たっちゃんと学ぼう	108	23,328
5	国際手話ハンドブック	70	105,000
6	手話を学ぶ人のために	54	93,312
7	差別事例分析結果報告書	52	28,080
8	新しい手話 2018	51	49,572
9	新しい手話 2017	45	43,740
10	誇りを持って未来へ	37	19,018
11	わたしたちの手話学習辞典Ⅱ	35	98,280
12	手話通訳Ⅲ テキスト	27	81,648
12	段また段を成してDVD	27	35,100
14	医療別冊わかりやすい体と病気	24	64,800
14	医療①<外来編>	24	51,840
16	よくわかる！聴覚障害者への合理的配慮とは？	21	18,144
17	DVDで学ぶ手話5級[新]	20	60,480
18	DVDで学ぶ手話3級[新]	18	62,208
19	手話通訳Ⅲ 指導書	16	60,480
20	手話で防災	13	7,020

2017年度書籍以外売上数量ベスト3

順位	書 籍 名	販売冊数 (本)	売上金額 (円)
1	手話でGO! バッジ	56	28,000
2	手話パフォーマンスタオル 赤	36	31,200
3	手話パフォーマンスタオル 白	31	27,200

【出版物事業実施報告（4月～3月）】

日程	事業名	開催地
6月25日(日)	第61回鳥取県ろうあ者大会	琴浦町赤崎地域コミュニティーセンター
8月6日(土)	平成29年度鳥取県聴覚障がい者福祉研修会	県立福祉人材研修センター
9月2日(土)	第25回中国地区合同手話研修会	県立倉吉未来中心
～3日(日)		
10月1日(日)	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園	とりぎん文化会館
10月8日(日)	鳥取県鳥取聾学校本校学校祭	県立鳥取聾学校
11月5日(日)	2017年度鳥取県手話フォーラム	米子コンベンションセンター

12月3日(日)	幹部養成研修会	伯耆しあわせの郷 とりぎん文化会館 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里 県立倉吉未来中心 さざんか会館
12月10日(日)	第2回鳥取県ろう教育を考える集い	
1月14日(日)	聴覚障害者のためのメンタルヘルス公演学習会	
2月25日(日)	鳥取県手話サークル連絡協議会研修会	
3月4日(日)	第33回耳の日記念集会	

【委員会実施報告(4月～3月)】

日程	内容	開催地	参加委員数
	実施なし		

【全日本ろうあ連盟事業報告】

日程	事業名	開催地	出席者
9月7日(木) ～9日(土)	2017年出版物対策研究会議・第28回全国 専従職員研修会	岐阜県恵那市	戸羽理事 前島和理事 須崎職員 西川職員

＜収－2 聴覚障害者情報保障促進事業＞

【目的】 特定するきこえない・きこえにくい人に対して必要な情報提供やコミュニケーションの確保をすることにより、社会の中で人間として尊重され、主体的に活動し生きがいのある社会生活が送れることを目指し、主催者からの依頼に応じてさまざまな場面において聴覚障害者の情報保障を行う。この事業は、障害者総合支援法に定められている「地域生活支援事業／専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣事業」とされていない分野の手話通訳等派遣を当法人として実施する。

公的派遣事業(県派遣事業)と同様に実績が減少した。専門性の高い依頼が主なため、対応できる手話通訳者が限られている。きこえない・きこえにくい人の社会参加をより一層促すため、専門性の高い手話通訳者、要約筆記者をどのように養成していくかが課題である。人材養成事業とも連携を強めていきたい。

＜派遣件数＞

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話	25	10	16	20	20	10	20	27	21	14	22	15	220
要約	-	4	4	6	5	6	4	8	-	-	1	-	38
合計	25	14	20	26	25	16	24	35	21	14	23	15	258

※参考：2016年度4月～3月…289件

＜収－3 聴覚障害者及び手話に対する理解促進事業＞

【目的】 学校、行政、地域等において、聴覚障害者の歴史・おかれている環境や聴覚障害者自身による体験の講演や手話の実技指導等の講師派遣を当法人として実施する。

連続する講座の依頼が多く、特に初心者向けの内容を繰り返し学びたいと希望される主催者が多かった。対象の受講者が入れ替わる講座もあれば、同じ受講者で毎年学習したいと希望される主催者もあった。担当する講師が主催者の要望に応えられるよう、コーディネーター担当者は、主催者と講師との繋ぎを円滑に行い、魅力ある講座運営が行えるようにしていきたい。

＜派遣件数＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件	7	11	14	21	15	18	16	16	12	17	18	5	170

※参考：2016年度4月～3月…151件

《他－1 会員・関係団体相互扶助事業》

1. 福祉・労働委員会

【総括報告】

1月に開催した「職場での情報保障を考える集い」は、半日というスケジュールで実施したが、「講演が30分と短い」、「意見交換ではもっと時間が欲しい」などといった意見があった。職場での情報保障に関しての関心が高いと受け止めているので、平成30年度の企画内容を改善していきたい。意見交換は、参加者一人ひとりが職場での情報保障について出し合った中で、過去と現在の職場環境は変化しているのが分かった。しかし、鳥取県手話言語条例成立後、職場環境が良くなった人と変わりつつある人は4名、生活面で変わったと思う人は14名挙手され、生活面より職場環境の改善が進めにくいのが現状であり、今後の課題といえる。

日本財団助成事業としての「聴覚障害者のためのメンタルヘルス」公演学習会を米子市で開催した。ろう者の俳優による手話の寸劇を用いた内容だったので、非常に視覚的に分かりやすく良い学習になったと大変好評であった。きこえない人のメンタルヘルスに対する理解が広がることを期待したい。

【事業実施報告】

■職場での情報保障を考える集い

日 程：平成30年1月14日（日）9：30～11：30

会 場：米子市福祉総合センターふれあいの里

内 容：①講演「情報を得ることの重要性について」

講 師：戸羽 伸一氏（公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会）

②参加者による意見交換

助言者：戸羽 伸一氏

参加者：27名

■『聴覚障害者のためのメンタルヘルス』公演学習会

日 程：平成30年1月14日（日）13：00～16：00

会 場：米子市福祉総合センターふれあいの里

内 容：①レクチャー（ちょっと学んでみよう）

「聞こえない人の精神保健（メンタルヘルス）」

講 師：日本聴覚障害者ソーシャルワーカー協会 会長 稲 淳子 氏

②オムニバス「青空がみえる～闇の向こうに～」

出演者：庄崎 隆志氏・河合 祐三子氏

③フリートーク

参加者：118名

【委員会実施報告】

日程	内容	開催地	参加者数
	実施なし		

【全日本ろうあ連盟事業実施報告】

日程	事業名	開催地	出席者
8月19日（土）	2017年度全国福祉担当者会議	広島県福山市	戸羽理事
1月26日（金） ～27日（土）	第31回全国ろうあ者相談員研修会兼第22回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働問題フォーラム	東京都渋谷区	細田職員 （大雪の為欠席 戸羽理事・尾田職員）
1月27日（土）	2017年度全国労働担当者会議	東京都渋谷区	（欠席）

2. 情報・コミュニケーション委員会

【総括報告】

2017年度手話フォーラムでは、早瀬憲太郎氏の講演と大阪パントマイムグループの公演で、県民の皆さんに楽しみながらきこえない世界を理解していただけた。以前より「フォーラム」の言葉は固いイメージであり、なじみにくいとの意見があり、平成30年度より「手話まつり」と呼称を変更することになった。

障害者差別解消法が施行された後、企業研修の場などで合理的配慮が行われているとの報告がある。制度の理解が徐々に広まり、成果が出ていると思われるが、きこえない・きこえにくい人たちが我慢をすることなく、情報保障が受けられるように今後も啓発をしていく必要がある。更に、安心した生活のための緊急時の連絡方法が、きこえない・きこえにくい人にも使いやすいシステムになるよう関係機関と協議していくことが必要である。

【情報コミュニケーション委員会実施報告】

日程	内容	開催地	参加者数
8月17日(木)	第1回委員会	県立倉吉体育文化会館	4名
10月5日(木)	第2回委員会	県立倉吉体育文化会館	4名
11月17日(金)	第3回委員会	さわやか会館	4名

【全日本ろうあ連盟事業報告】

日程	事業名	開催地	出席者
8月19日(土)	2017年度全国情報・コミュニケーション担当者会議	広島県福山市	諸家理事

3. 教育・文化委員会

【総括報告】

鳥取県ろうあ者将棋大会では、将棋とオセロ、五目並べの3種目を準備していたが、参加者数により、将棋と五目並べの2種目による競技となった。将棋は、相変わらず鳥取県中部ろうあ協会の会員が連続優勝を収めた。五目並べでは、女性の参加もあり、競技を楽しんでおられた。

第2回鳥取県ろう教育を考える集いは、2年ぶりの開催で委員会のメンバーも初めての経験で、講演の内容、パネルディスカッションの在り方や進め方など、戸惑いながら協議を重ね、無事に開催することができた。午前中は「ろう教育を取り巻く課題と今後の課題」をテーマに、鳥取県教育委員会特別支援教育課の福田高之氏と中井睦子氏、一般財団法人全日本ろうあ連盟理事の石橋大吾氏より講演をいただき、午後はパネルディスカッションで、「早期支援教育から感じること」をテーマに、きこえない・きこえにくい子どもが生まれた時に、早期発見後の療育面、教育面、手話言語獲得の各段階での相談支援など、さまざまな支援体制について語っていただいた。

第34回耳の日記念集会は、さざんか会館で開催し、172名の参加があった。記念講演では、日本では数少ないろう者女優の貴田みどり氏が「美しき夢を追いかけて」について講演され、女優になるためには目標に向かって努力を続けること、人一倍自分を磨くこと、周りの支えが必要なことなどの話が伺えた。午後では「自分らしく生きるPARTⅡ」で、3名のパネラーより、自分の生き立ち、育った環境、教育、楽しかったこと、苦しかったことなどの体験を語っていただいた。

【事業実施報告】

■第7回鳥取県ろうあ者将棋大会

日 程：平成29年11月23日(木・祝)

会 場：伯耆しあわせの郷

種 目：将棋の部・五目並べの部

参加者：15名

結 果：将棋の部	優 勝	中部会員	戸羽 伸一 氏
	準優勝	中部会員	藤井 雅之 氏
	三 位	東部会員	國本 昭夫 氏
五目並べの部	優 勝	東部会員	清水 泰典 氏
	準優勝	中部会員	谷崎 義孝 氏
	三 位	東部会員	森安 一彦 氏

■第33回耳の日記念集会

日 程：平成30年3月4日(日)

会 場：さざんか会館

内 容：①記念講演

演題：「美しき夢を追いかけて！」 講師：貴田 みどり 氏

②パネルディスカッション

テーマ：「自分らしく、生きるPARTⅡ」

パネリスト：貴田みどり氏・塚根隆氏・澤田佳菜子氏

コーディネーター：西山繭子氏

③基調報告

報告：「第53回全国ろうあ者体育大会に向けて」

報告者：徳岡英一氏

参加者：172名

■第2回鳥取県ろう教育を考える集い

日程：平成29年12月10日（日）

会場：とりぎん文化会館

内容：①基調講演

テーマ：「ろう教育を取り巻く課題と今後の課題」

講師：鳥取県教育委員会事務局 特別支援教育課 課長補佐 福田 高之 氏
鳥取県教育委員会事務局 特別支援教育課 中井 暁子 氏

②基調講演

テーマ：「ろう教育を取り巻く課題と今後の課題」

講師：全日本ろうあ連盟理事 教育・文化委員会 委員長 石橋 大吾 氏

③パネルディスカッション

テーマ：「語ろう！早期教育から感じること～ろう教育の現場より～」

パネリスト：石橋大吾氏・中井暁子氏・林明美氏

コーディネーター：徳岡英一氏

④レクリエーション

参加者：80名

【学校評議員会等出席報告】

■鳥取聾学校 第1回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会

日程：平成29年6月22日（木）

会場：県立鳥取聾学校

出席者：岡嶋副理事長

■鳥取聾学校 第2回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会

日程：平成30年2月23日（金）

会場：県立鳥取聾学校

出席者：岡嶋副理事長

【報告】

平成28年度から引き続き、平成29年度学校評議員会並びに学校関係者評価委員会委員長として、岡嶋副理事長が就任した。

第1回目は、協議内容が平成28年度と同じで、特に学生の人数が少ないため、連帯感や友達との交流が足りないと感じた。事例として、卒業後社会に入ってから悩みや問題などを、ろう学校の先生に何回か相談するケースがあり、課題について話し合った。

第2回目は、聾学校の生徒が発言能力、コミュニケーション能力が不足しているため、その能力を養うために地域の学校と何回か交流を行ない、大変良かった。だが、生徒数が多いので、当然恋愛や遊び、コミュニケーションも多い。聾学校の生徒は、経験不足によるつまずきを体験したとのことだった。

卒業を迎える生徒が運転免許取得に向けて頑張っているが、自動車学校の指導者のみによる指導のせいかわからないが何度も落ち続けている。通じていないのではないかと思われるので、聾学校からも補助的に指導してはどうだろうかと思いを出した。

■鳥取聾学校ひまわり分校 第1回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会

日程：平成29年7月13日（木）

会場：県立鳥取聾学校ひまわり分校

出席者：西山理事

■鳥取聾学校ひまわり分校 第2回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会

日程：平成30年3月1日（木）

会場：県立鳥取聾学校ひまわり分校

出席者：西山理事

【報告】

第1回委員会は、ひまわり分校の授業参観をし、手話表現が気になる先生が見られた。先生と生徒のコミュニケーションが気になる場所である。平成29年度学校の概要について、幼稚部、小学部、中学部とそれぞれ説明していただいた。手話表現の技術に問題があるなどの意見を出した。

第2回委員会は、地域の中学校との交流も取り入れ、生徒が自分で障害について伝え、説明する機会を持っているなどの報告を頂いた。先生たちが手話を獲得する中で行き詰るなどあるかどうかを質問したところ、教科指導の中で専門的な言葉や辞典にない言葉があり、困ることがある。指文字を使ったり、同僚に尋ねたりすることもあるとの回答があった。

■第23回中国地区ろう文化学習会

台風のため中止（開催計画）

日 程：平成29年9月17日（日）

会 場：米子コンベンションセンター

内 容：「多様な“性”について知ろう」

講 師：山本芙由美氏

【報告】

中国ブロック持ち回りで平成29年度は鳥取県が開催予定だったが、台風のため中止となった。中国地区文化委員会委員長の最終判断に時間がかかったが、中止の連絡を受け、全参加者にきちんと対応ができた。今まで、台風や大雪などの自然災害が起こったときに予定通り行うことが多かったが、今後は緊急時の対応方法をどうするのか、中国地区ろうあ連盟に提案したいと考えている。

【委員会実施報告】

日程	内容	開催地	参加者数
8月5日(土)	第1回教育・文化委員会	伯耆しあわせの郷	5名
11月18日(土)	第2回教育・文化委員会	伯耆しあわせの郷	3名
11月23日(木)	第3回教育・文化委員会	伯耆しあわせの郷	5名
2月3日(土)	第4回教育・文化委員会	県立倉吉未来中心	5名

【鳥取聾学校本校及びひまわり分校事業報告】

日程	事業名	開催地
5月13日(土)	春季大運動会	県立鳥取聾学校
7月1日(土)	ひまわり運動会	県立鳥取聾学校ひまわり分校
10月7日(土) ～8日(日)	鳥取聾学校本校学校祭	県立鳥取聾学校
11月3日(土)	ひまわり発表会	県立鳥取聾学校ひまわり分校

【全日本ろうあ連盟／中国地区ろうあ連盟事業報告】

日程	事業名	開催地	出席者
7月15日(土)	中国地区ろうあ連盟文化部委員会	岡山県岡山市	岡嶋副理事長・澤田委員
8月25日(金)	2017年度ろう教育担当者会議	山形県山形市	岡嶋副理事長
9月17日(土)	第22回中国地区ろう者文化学習会	米子コンベンションセンター	中止
1月20日(土)	中国地区ろうあ連盟文化部委員会	島根県浜田市	岡嶋副理事長

【全日本ろうあ連盟／中国地区ろうあ連盟事業予定】

日程	事業名	開催地	出席者
2月10日(土) ～11日(日)	第17回全国ろう者将棋大会	東京都港区	なし

4. 組織委員会

■幹部養成研修会

日 程：平成29年12月3日（日）

会 場：伯耆しあわせの郷

内 容：「鳥取県民みんなで進める障がい者が暮らしやすい社会づくり条例（愛称・あいサポート条例）について」

講師：鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局 障がい福祉課 課長 小澤 幸生 氏

参加者：28名

【報告】

幹部養成研修会では、制定されたばかりのあいサポート条例について県障がい福祉課の方から講演をしていただいた。これからもさまざまな事例を集めて、もっと、きこえない・きこえにくい人が住みやすい社会づくりを進めていく必要があることを確認できた。

【委員会実施報告（4月～3月）】

日程	内容	開催地	参加委員数
	実施なし		

【2017年度事業報告（4月～3月）】

■日聴紙学習会

日 程：9月10日 日聴紙学習会（西部ろうあ協会日曜教室内での実施）

2月10日 日聴紙学習会（中部ろうあ協会日曜教室内での実施）

2月12日 日聴紙学習会（西部ろうあ協会日曜教室内での実施）

全国ろうあ者大会において、日聴紙、季刊みみについて、購読率100%を達成し、W賞をもらうことができた。日聴紙は3位、季刊みみは1位であった。日聴紙でも1位をとれるように、周囲への呼びかけを進めていきたい。

6月に西部ろうあ協会日曜教室内で実施予定であった日聴紙学習会は、時間の都合で実施できなかった。9月には西部ろうあ協会日曜教室内で実施した。手話言語法に向けての取り組み、各地における情報などを中心に話をした。興味を持ってもらえる内容を中心に扱うことでより関心を深めることができた。2月は中部、西部で実施した。購読につながる話のできたので、今後も継続して、機会をつくり、実施していきたい。

*鳥聴協会員数について（3月31日現在）

2017年度公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会会員数

	2016年度会員数			学生から一般へ移行	2017年度会員増減					2017年度会員数			
	一般会員 (会費納入数)	学生会員数	合計		入会者数	圏域転居	退会	死亡	小計	一般会員 (会費納入数)	90歳以上会員数	学生会員数	合計
東部	127	1	128	1	3	0	-2	-2	-1	125	2	0	127
中部	23	1	24	0	0	0	0	0	0	23	0	1	24
西部	61	6	67	0	5 (内学生4)	0	-5 (内学生2)	-1	-1	58	0	8	66
合計	211	8	219	1	8	0	-7	-3	-2	206	2	9	217

*日聴紙購読者について

	2016年度購読者数	2017年度日聴紙購読者数	
		3/31現在	前年比
東部	75	80	+5
中部	32	44	+12
西部	47	46	-1
計	154	170	+16

*季刊みみ購読者について（定期購読）

	2016年度購読者数	2017年度季刊みみ購読者数	
		3/31現在	前年比
東部	27	23	-4
中部	12	6	-6
西部	34	31	-3
計	73	60	-13

***とり聴協新聞購読者数について**

	2016年度 購読者数	2017年度とり聴協新聞購読者数	
		3/31現在	前年比
東部	34	46	+12
中部	11	10	-1
西部	22	15	-7
県外	8	12	+4
計	75	83	+8

5. 青年部

【活動報告（4月～3月）】

定期総会では、会員 13 名が参加し、入会希望者 2 名はオブザーバーとして参加した。多くの質疑応答があり、有意義な時間となった。また、会員の声を参考により良い行事活動をしていこうとする意欲が見られた。そして、入会希望者が全員青年部に入会した。

鳥取県ろうあ青年の夏の交流会は倉吉市で開催し、10 名の参加があった。「昔のろうあ運動を知ろう」というテーマで、高齢部副部長の谷崎義孝氏より講演していただき、参加者は熱心に聴講していた。昔のろうあ運動やきこえない方の就労状況などの歴史を学び、意見交換会では参加者一人ひとりが発表や質問をしたり、私たちの働き方についてみんなと一緒に考え合ったりするなど、大変有意義な時間となった。

臨時総会では、会員 16 名の参加があり、次期役員選挙を行った。立候補者のそれぞれが決意表明を述べ、その後投票を行った。投票結果により選ばれた新役員は次期からの活動となるが、青年部に新風をもたらしてくれることを期待したい。

鳥取県ろうあ青年の集いは、一般財団法人全日本ろうあ連盟青年部中央委員の野添亘氏より、「国際経験と青年部」をテーマとした講演をしていただいた。青年部の国際行事に参加し、色々な経験を積むことができたことが自信につながっているとのことと、仲間を持つことの大切さを力説しておられた。グループワークでは、よく使われる国際手話の表現を学び、ワークショップでテーマに基づいて内容を考え、その内容を国際手話で表現した。いろいろな表現があり、改めて、国際手話の奥深さを学ぶことができた。

【役員会実施報告（4月～3月）】

日程	内容	開催地	参加者数
5月22日(月)	第1回役員会	県立倉吉体育文化会館	5名
7月27日(木)	第2回役員会	県立倉吉体育文化会館	4名
10月24日(火)	第3回役員会	県立倉吉体育文化会館	4名
2018年 2月22日(木)	第4回役員会	県立倉吉体育文化会館	4名

【2017年度事業報告（4月～3月）】

日程	事業名	開催地	参加者数
4月8日(土)	定期総会	県立倉吉体育文化会館	13名
7月2日(日)	鳥取県ろうあ青年の夏の交流会	県立倉吉未来中心	10名
9月9日(土)	臨時総会	県立倉吉体育文化会館	16名
2018年 1月27日(土)	鳥取県ろうあ青年の集い	米子サン・アビリティーズ	10名

【全日本ろうあ連盟事業報告（4月～3月）】

日程	事業名	開催地	参加者数
6月3日(土)	第65回全国ろうあ者大会青年の集い	福岡県福岡市	6名
8月12日(土)	第36回全国ろうあ青年部活動者会議	茨城県つくば市	5名
～13日(日)			
11月3日(土)	第51回全国ろうあ青年研究討論会	大阪府堺市	11名
～5日(日)			

2018年 2月10日(土) ～11日(日)	第49回全国委員会	東京都江東区	3名
------------------------------	-----------	--------	----

6. 女性部

【活動報告(4月～3月)】

定期総会では会員の半数を超える参加があり、事業計画・予算案等に質問等をいただき、活発な意見交換を行うことができた。また、女性部や協会に興味を持ってもらえるようにするためには、女性部独自の行事としてどのような企画がいいのか話し合った。総会後の親睦会では、役員の紹介後、参加者相互の交流ができ、充実した時間を過ごすことができた。

第9回鳥取県ろうあ女性集会では、大阪ろうあ会館在宅支援課地域活動支援センター主任廣田しづえ氏を講師に招き、「私の人生～母、仲間たち、ろうあ運動から学ぶ～」といったテーマで講演していただいた。特に、「ろうあ運動は、自分を高めさせる学習の一つだと思っている。また、きこえないことに誇りを持っている。女性でもできないことはない。」との力強い発言に参加者の方々は感銘を受けていた。

1月に料理教室を実施した。風邪予防料理というテーマで気軽に家庭でも作れる方法を学び、とても参考になったという声が多く、好評だった。

【2017年度事業実施報告(4月～3月)】

日程	内容	開催地	参加者数
4月16日(日)	定期総会	さわやか会館	14名
7月30日(日)	第9回鳥取県ろうあ女性集会	さわやか会館	25名
7月30日(日)	臨時総会	さわやか会館	12名
2018年 1月21日(日)	料理教室	北栄町中央公民館大栄分館	8名

【役員会実施報告(4月～3月)】

日程	内容	開催地	参加役員数
4月30日(日)	第1回役員会	さわやか会館	4名
7月29日(土)	第9回鳥取県ろうあ女性集会第1回実行委員会	さわやか会館	7名
10月8日(日)	第2回役員会	北栄町中央公民館大栄分館	3名
2月25日(日)	第3回役員会	さわやか会館	3名

【全日本ろうあ連盟/中国地区ろうあ連盟事業報告】

日程	事業名	開催地	参加者数
7月16日(日) ～17日(月・祝)	第41回中国地区ろうあ女性集会	山口県山口市	3名
10月28日(金) ～30日(日)	第47回全国ろうあ女性集会	群馬県渋川市	5名
1月28日(日)	第44回全国ろうあ女性研修会	兵庫県神戸市	(大雪のため欠席)

7. 高齢部

【活動報告(4月～3月)】

7月9日に日曜教室を実施し、内容は「いきいき元気に暮らすために」のテーマで介護保険の負担増や介護予防などの問題について学習した。参加者が多く、会員外の参加もあった。

臨時総会の役員改選のとき、出席者より多くの質問や意見があった。2年後の総会で会則の見直しを行いたい。

9月29日～10月1日、第29回全国ろうあ高齢者大会が岡山県岡山市で開催され、全国からの参加者は533名で、県内からは18名の参加があった。ゲートボール競技は、鳥取県A・Bチームともに健闘したが、鳥取県Aチームは4位で、鳥取県Bチームは敗退した。グラウンド・ゴルフ競技も盛り上がってとてもよかった。今後も、競技力強化を図るように頑張りたい。

10月28日～10月29日、第31回中国地区ろうあ高齢者大会が山口県宇部市で開催され、参加者は96名で、県内からの参加者は10名だった。28日、29日と両日大雨に見舞われる中、ゲートボール大会の代わりに、ボール・ボードゲームGG試合が行われ、第3位と好成績を残した。と

でも盛り上がり、楽しくプレイできた。グラウンド・ゴルフ大会は、芝のコンディションの悪さにも関わらず、参加者はレインコートを着用し、積極的に試合が行われた。鳥取県は、米原義郎氏が第3位と好成績を残した。来年開催予定の広島県では、『熱く・楽しく・交流』をモットーとし、競技力強化を図っていきたい。

11月12日の日曜教室で学習会を開催し、講師に和泉正人氏を迎え、「地域で暮らす共に生きる—豊かな長寿、災害から命を守る—」という演題で分かりやすくお話をいただき、地震・大雨・台風から身を守るための学習をした。防災グッズ・避難所会話カードについての知識と理解を深めることができた。また、びんご防災が行っている災害メール配信や社会保障について知り、それを参考にし、今後の取り組みに活用していきたい。

富山県で開催された全国ろうあ高齢部代表研修会に参加し、全国から76名の参加があり、鳥取県からは3名が参加した。「安心できる高齢者の生活」などについていろいろと学び、交流会も楽しく参加することができた。平成30年度は香川県高松市で開催予定なので今後も参加していきたい。

高齢部の会員が減ってきているので、高齢部の会員を増やしたい。

【事業実施報告（4月～3月）】

日程	事業名	開催地	参加者数
4月15日(土)	定期総会	さわやか会館	22名
7月9日(日)	日曜教室	さわやか会館	32名
7月9日(日)	臨時総会	さわやか会館	25名
11月12日(日)	日曜教室	さざんか会館	27名

【役員会実施報告（4月～3月）】

日程	内容	開催地	参加役員数
5月10日(水)	第1回役員会	伯耆しあわせの郷	3名
5月17日(水)	第2回役員会	伯耆しあわせの郷	3名
9月20日(水)	第3回役員会	道の駅 大栄	3名
3月7日(水)	第4回役員会	伯耆しあわせの郷	3名

【2017年度全日本ろうあ連盟／中国地区ろうあ連盟事業報告（4月～3月）】

日程	事業名	開催地	参加者数
5月6日(土) ～7日(日)	中国地区ろうあ連盟高齢部平成29年度 前期代議員会	広島県広島市	2名
9月29日(金) ～10月1日(日)	第29回全国ろうあ高齢者大会 第31回全国ろうあ高齢者ゲートボール 競技大会 第8回全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴ ルフ大会	岡山県岡山市	総合(533名) 18名
10月28日(土) ～29日(日)	第31回中国地区ろうあ高齢者大会 第31回中国地区ろうあ高齢者ゲートボ ール競技大会 第3回中国地区ろうあ高齢者グラウン ド・ゴルフ競技大会	山口県宇部市	総合(96名) 0名
2018年 2月23日(金) ～24日(土)	第10回全国ろうあ高齢部代表研修会	富山県富山市	3名

8. スポーツ部

【活動報告（4月～3月）】

4月8日(土)倉吉体育文化会館で定期総会を開いた。会員11名が参加し、新しく1名入会した。5月20日(土)～21日(日)第9回中国・四国地区ろうあ者体育大会は、山口県周南市で開催された。ボウリング競技の中村洋三選手は個人戦で3位入賞した。糺正宏選手は19位だった。卓球競技の加賀田梓選手は1回戦敗退した。

第17回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技中国・四国地区予選大会はリハーサル大会のため、愛媛県で開催した。男子バレーボール競技は4連覇を懸けた試合に挑み、見

事に達成することができた。7月8日(土) 激励会では、下垣理事長の代理として戸羽理事を招待し、デフリンピック出場の前島博之選手、中村開知選手を激励した。

7月18日(火)～30日(日) 第23回夏季デフリンピック競技大会サムスン2017では、前島奈美選手が出場している、女子バレーボール競技は予選から決勝までストレート勝ちし、金メダルを獲得することができた。陸上競技の前島博之選手は走高跳5位、男子十種競技4位入賞した。中村開知選手は4×100m準決勝に2走者で出場し1位で決勝進出を果たし、決勝で金メダルを勝ち取った。

9月21日(木)～24日(日) 第51回全国ろうあ者体育大会静岡では男子バレーボール競技は奮闘したが、決勝トーナメント1回戦敗退した。陸上競技は7年ぶり団体3位入賞した。ボウリング競技は中村洋三選手がハイゲーム258を出したが決勝19位だった。卓球競技の加賀田梓選手は女子ダブルス2回戦敗退、シングルス1回戦敗退した。

第17回全国障害者スポーツ大会愛媛では男子バレーボール競技は、1回戦青森県に勝ち準決勝進出したが、愛知県に敗れ3位決定戦となり長崎県と戦ったが4位になった。

陸上競技の前島浩二選手はジャベリックスロー、砲丸投げで初めての2冠を果たした。

11月25日(土)～26日(日) 中国地区ろうあ連盟秋の集い広島でスポーツを通して国際手話を一般社団法人日本国際手話通訳・ガイド協会砂田武志氏が講演された。

【出場競技結果報告】

日程	事業名	開催地	参加者数
5月20日(土) ～21日(日)	第9回中国・四国地区ろうあ者体育大会 (結果) ボウリング競技 中村洋三個人 3位 糀 正宏個人 19位 卓球競技女子 加賀田梓 女子シングルス 1回戦敗退 女子ダブルス 3位	山口県周南市	4名
5月27日(土) ～28日(日)	第17回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者 バレーボール競技中国・四国地区予選大会 (結果) 男子バレーボール競技 優勝	愛媛県伊予市	9名
7月18日(火) ～30日(日)	第23回夏季デフリンピック (結果) 女子バレーボール競技 優勝 前島奈美 金メダル 陸上競技 前島博之 走高跳 5位 男子十種競技 4位 中村開知 4×100m 優勝 (準決勝 3組 1位)	トルコ・サムスン	3名
9月21日(木) ～24日(日)	第51回全国ろうあ者体育大会 (結果) 男子バレーボール競技 決勝トーナメント 1回戦敗退 陸上競技 団体 3位 前島浩二 槍投げ 1位 砲丸投 4位 前島博之 走高跳 1位 円盤投 4位 中村開知 100m 2位 ボウリング競技 中村洋三 決勝 19位 HG258 卓球競技女子 加賀田梓 女子シングルス 1回戦敗退 女子ダブルス 2回戦敗退	静岡県静岡市	14名
10月28日(土) ～30日(月)	第17回全国障害者スポーツ大会 (結果) 男子バレーボール競技 決勝トーナメント 4位 陸上競技 前島浩二 ジャベリックスロー 1位 砲丸投 1位	愛媛県伊予市	11名

【役員会実施報告（4月～3月）】

日程	内容	開催地	参加役員数
4月 4日（火）	第1回役員会	ガストイオン鳥取北店	3名
7月10日（火）	第2回役員会	ガストイオン鳥取北店	3名
8月18日（金）	第3回役員会	ガストイオン鳥取北店	3名
11月20日（月）	第4回役員会	ガストイオン鳥取北店	3名

【2017年度事業報告（4月～3月）】

日程	内容	開催地	参加者数
4月 8日（土）	定期総会	県立倉吉体育文化会館	11名
7月 8日（土）	激励会	炉端かば倉吉店	10名
9月 9日（土）	臨時総会	県立倉吉体育文化会館	11名

9. 鳥取県東部ろうあ協会

■地域生活支援事業（日曜教室）の報告

【講演会】

日 程：平成29年8月20日（日）10：00～12：00

会 場：さざんか会館

内 容：「ろうあ運動と手話言語の歴史」

講 師：社会福祉法人全国手話研修センター

日本手話研究所 手話総合資料室 高塚 稔氏

参加者：67名

【防災学習会】

日 程：平成30年2月11日（日）10:00～16:00

会 場：鳥取県生涯学習センター県民ふれあい会館

午前の部

内 容：「熊本地震で思うこと」

講 師：一般財団法人熊本県ろう者福祉協会 常務理事 松永 朗氏

一般財団法人熊本県ろう者福祉協会 会員 川北 哲司氏

午後の部

内 容：「鳥取県中部地震の状況、鳥取県聴覚障害者協会の対応」

講 師：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長 戸羽 伸一氏

参加者：71名

10. 鳥取県中部ろうあ協会

■地域生活支援事業（日曜教室）の報告

【講演会】

日 程：平成29年9月10日（日）

会 場：倉吉交流プラザ

内 容：「ろうあ運動と手話言語の歴史」

講 師：社会福祉法人全国手話研修センター

日本手話研究所 手話総合資料室 高塚 稔氏

参加者：29名

【学習会】

日 程：平成30年2月10日（土）

会 場：倉吉市上井公民館

内 容：①防災学習会「いざという時に役立つ！防災・減災教室」

②「手話クイズ」

講 師：①日本防災士会鳥取県支部中部事務局 中本 公人氏

②鳥取県中部ろうあ協会 役員 高塚 千春氏

参加者：33名

1 1. 鳥取県西部ろうあ協会

■地域生活支援事業（日曜教室）の報告

【講演会】

日 程：平成 29 年 6 月 11 日（日）

会 場：米子コンベンションセンター

内 容：「カナダの文化について」

講 師：鳥取県観光交流局 交流推進課 国際交流員

リチャード・オリバー・ヘイウッド氏

参加者：42 名

【講演会】

日 程：平成 29 年 9 月 10 日（日）

会 場：米子市公会堂

内 容：「中国文化と日本文化の違いについて」

講 師：一般社団法人広島県ろうあ連盟 理事 陸 禰 氏

参加者：40 名

【講演会】

日 程：平成 30 年 2 月 12 日（月・祝）

会 場：米子コンベンションセンター

内 容：「ロシアと日本の文化の違いについて」

講 師：鳥取県観光交流局 交流推進課 国際交流員 ナザレンコ・エカテリーナ氏

参加者：30 名

1 2. 第 61 回鳥取県ろうあ者大会

◎前夜祭

日 程：平成 29 年 6 月 24 日（土）18：00～21：00

会 場：ホテルセントパレス倉吉

参加者：48 名

◎第 61 回鳥取県ろうあ者大会

日 程：平成 29 年 6 月 25 日（日）10：30～15：30

会 場：琴浦町赤碕地域コミュニティーセンター

内 容：第 1 部 大会式典（主催者挨拶、来賓祝辞、大会決議、大会宣言など）

特別企画『デフリンピック啓発イベント』

第 2 部 記念講演「全日本聾唖連盟結成大会を巡る調査で分かったこと

～全日本ろうあ連盟創立 70 周年記念～

講 師：一般財団法人全日本ろうあ連盟高齢部副部長兼会計部長 飯島 康夫氏

参加者：166 名

1 3. 全国手話検定試験事業

平成 29 年度は、鳥取県の手話検定試験受験料補助を活用した団体などが多く、どの級も受験者が増えた。団体受験も 2 件あり、面接委員の調整・派遣を行った。平成 29 年度より事務手当として全国手話検定試験事務局から協力金が支払われることになった。授業やクラブ活動など手話を取り入れている学校は増えているので、受験の呼びかけに力を入れて取り組んでいきたい。

■全国手話検定試験受験者のための学習セミナー

日 程：平成 29 年 9 月 16 日（土）

会 場：伯耆しあわせの郷（倉吉市）

実施級：5 級・（4 級は中止）

参加者：5 級 10 人

■第 12 回全国手話検定試験

日 程：平成 29 年 10 月 14 日（土）～15 日（日）

会 場：倉吉未来中心（倉吉市）

実施級：5 級・4 級・3 級・2 級

受験者：5級 40名（合格者 38名）、 4級 25名（合格者 24名）
 3級 29名（合格者 26名）、 2級 16名（合格者 11名）

■第12回全国手話検定試験【団体受験】

日 程：平成30年2月3日（土）

会 場：鳥取県立鳥取聾学校

実施級：3級・2級・1級

受験者：3級 3名（合格者 3名）、2級 6名（合格者 6名）

1級 15名（合格者 12名）

日 程：平成30年2月17日（土）

会 場：鳥取県立岩美高等学校

実施級：5級・4級・3級

受験者：5級 1名（合格者 1名）、4級 20名（合格者 20名）

3級 3名（合格者 1名）

【全国手話検定試験鳥取県委員会等実施報告】

日程	内容	開催地	参加者数
6月14日(水)	第1回委員会	県立倉吉体育文化会館	5名
9月14日(木)	第2回委員会	県立倉吉体育文化会館	7名
9月16日(土)	面接委員・要員の事前打ち合わせ、 事前練習	伯耆しあわせの郷	9名

14. とっとりの手話を創り、守り、伝える事業

平成29年度は、東部・中部の会員5名にご協力をいただき、手話の収録を4回実施できた。昔のろう学校や卒業後の生活などの貴重な話を収録できた。今後は収録した映像の分析・研究および編集を行い、手話の保存と、手話の伝承の方法を確立していくことが課題である。また、平成29年度は、中国地区合同手話研修会及び手話サークル・手話学習グループ研修会において、当事業の説明をさせていただいた。手話フォーラムでの手話の発表、耳の日記念集会でのアンケート配布などこの事業を広く知っていただく方法を今後も考えていきたい。

活動種別	日 時	場 所	内 容
創る・守る	5月23日(火)	県立倉吉体育文化会館	第1回委員会 (平成29年度の活動についての確認、理事会で報告する手話表現などの確認、撮影した手話表現の確認など)
創る・守る	7月16日(日)	伯耆しあわせの郷	第2回委員会 (手話表現などの確認、中国地区合同手話研修会の内容確認、撮影した手話表現の確認、撮影計画、など)
守る	9月15日(金)	さわやか会館	高齢ろう者の手話を動画に記録 (テーマ：家族の思い出など)
守る	10月19日(木)	伯耆しあわせの郷	高齢ろう者の手話を動画に記録 (テーマ：鳥取中部地震の体験など)
創る・守る	10月22日(日)	県立倉吉未来中心	第3回委員会 (手話フォーラムでの報告方法確認、撮影した手話表現の確認など)
伝える	11月5日(日)	米子コンベンションセンター	2017年度鳥取県手話フォーラム (手話表現などの報告)
創る・守る	12月17日(日)	倉吉市上井公民館	第4回委員会 (手話フォーラムの反省、 撮影した手話表現の確認など)

創る・守る	2月24日(土)	伯耆しあわせの郷	第5回委員会 (第33回耳の日集会での活動紹介の内容確認、次年度計画についてなど)
守る	3月3日(土)	さわやか会館	高齢ろう者の手話を動画に記録 (テーマ:ご自身の体験談など)
伝える	3月4日(日)	さざんか会館	第33回耳の日記念集会 (委員会の活動紹介)
守る	3月23日(金)	北栄町中央公民館 大栄分館	高齢ろう者の手話を動画に記録 (テーマ:ご自身の体験談など)

<その他>

※第25回中国地区合同研修会に協力

主 催:中国地区手話サークル連絡協議会、全国手話通訳問題研究会中国ブロック

期 日:9月2日(土)~3日(日)

会 場:県立倉吉未来中心

協力内容:分科会で手話の成り立ちを学び、新しい単語などを考える

協力者:情報・コミュニケーション委員会委員

※平成29年度手話サークル・手話学習グループ研修会に協力

主 催:鳥取県手話サークル連絡協議会

期 日:2月25日(日)

会 場:伯耆しあわせの郷

協力内容:とつとりの手話を創り・守り・伝える事業委員会の目的等について講演

講 師:諸家 紀子氏

15. 機関紙

2017年度	主な内容
4月号 (第37号)	理事長挨拶、耳の日記念集会の報告、教育長へ要望書提出
5月号 (第38号)	第61回鳥取県ろうあ者大会案内、各専門部定期総会報告
6月号 (第39号)	第23回夏季デフリンピックサマソ 2017 鳥取県から3名出場
7月号 (第40号)	県大会報告、デフリンピック知事表敬訪問及び壮行会報告など
8月号 (第41号)	デフリンピック結果及び祝賀会報告、岩美高校手話授業取材など
9月号 (第42号)	鳥取県手話フォーラム案内、福祉研修会報告など
10月号 (第43号)	全国高校生手話パフォーマンス甲子園報告、日曜教室報告など
11月号 (第44号)	第2回鳥取県ろう教育を考える集い案内・塚根泰子氏緑綬褒章受章報告など
12月号 (第45号)	中国地区ろうあ連盟合同研修会報告・第7回将棋大会報告など
1月号 (第46号)	理事長新年の挨拶、鳥取県ろう教育を考える集い報告・NTT西日本の事例報告など
2月号 (第47号)	職場での情報保障を考える集い報告・メンタルヘルス公演学習会報告など
3月号 (第48号)	第33回耳の日記念集会報告・公的機関の差別事例報告など

*全8ページ、毎月20日発行

【管理部門】

1. 理事会

第1回	平成29年	5月28日(日)	伯耆しあわせの郷
臨時	平成29年	6月24日(土)	県立倉吉体育文化会館
第2回	平成29年	7月23日(土)	県立倉吉未来中心
第3回	平成29年	11月18日(土)～11月19日(日)	伯耆しあわせの郷
第4回	平成30年	3月17日(土)～3月18日(日)	伯耆しあわせの郷

2. 総会

第3回総会 平成29年6月24日(土) 県立倉吉体育文化会館
出席 36名 委任 109名

[議事結果]

- 第1号議案 議長選出の件
- 第2号議案 平成28年度事業報告に関する件
- 第3号議案 平成28年度決算報告及び平成27年度監査報告に関する件
- 第4号議案 理事選出に関する件

	不承認	保留	承認(委任含む)
第1号議案	0名	0名	144名
第2号議案	0名	0名	145名
第3号議案	0名	0名	145名
第4号議案	0名	0名	145名

*第1号議案…議長1名は除く

臨時総会 平成29年12月3日(日) 伯耆しあわせの郷
出席 36名 委任 122名

[議事結果]

- 第1号議案 議長選出の件
- 第2号議案 定款変更の件
- 第3号議案 選挙管理委員長及び選挙管理委員選出の件
- 第4号議案 立会人選出の件

	不承認	保留	承認(委任含む)
第1号議案	0名	0名	157名
第2号議案	0名	0名	158名
第3号議案	0名	0名	158名
第4号議案	0名	0名	158名

*第1号議案…議長1名は除く

第5号議案 理事及び監事候補者選定の件
出席者 36名 (採決は議長1名を除く)

○公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会理事候補者の選定

No.	氏名	所属	信	不	無
1	岡嶋 雅人	東部ろうあ協会	33	2	0
2	前島 和雄	東部ろうあ協会	34	1	0
3	諸家 紀子	東部ろうあ協会	28	7	0
4	戸羽 伸一	中部ろうあ協会	35	0	0
5	石橋 大吾	西部ろうあ協会	35	0	0

6	下垣 彰則	西部ろうあ協会	35	0	0
7	西山 繭子	西部ろうあ協会	34	1	0
8	米原 義郎	高齢部	27	8	0
9	谷崎 秋恵	女性部	32	3	0
10	徳岡 英一	青年部	33	2	0
11	三輪 裕貴	青年部	33	2	0

公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会理事数 12 名 賛成 35 名

推薦者選挙 1 回目

氏名	所属	数
澤田佳菜子	東部ろうあ協会	10
尾田 将史	東部ろうあ協会	5
高塚 千春	中部ろうあ協会	5
山岡 亮子	東部ろうあ協会	3
尾田 里美	女性部	3
高田 雅子	東部ろうあ協会	2
中村 洋三	東部ろうあ協会	1
谷崎 義孝	中部ろうあ協会	1
山田 宗克	中部ろうあ協会	0
小林 典子	西部ろうあ協会	0
杉本 清司	高齢部	0

上位 3 名による推薦者選挙 2 回目

氏名	所属	数
澤田佳菜子	東部ろうあ協会	16
尾田 将史	東部ろうあ協会	8
高塚 千春	中部ろうあ協会	8

◎公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会理事候補者

岡嶋 雅人・前島 和雄・諸家 紀子・戸羽 伸一・石橋 大吾・下垣 彰則・西山 繭子・米原 義郎・谷崎 秋恵・徳岡 英一・三輪 裕貴・澤田 佳菜子

○公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会監事候補者の選定

立候補者選定

No.	氏名	所属	信	不	無
1	塚根 隆	西部ろうあ協会	33	1	1
2	前島 浩二	スポーツ部	32	2	1

◎公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会監事候補者

塚根 隆・前島 浩二

3. 事務局

◎会議・行事報告

5月13日(土) ～14日(日)	会計監査会	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会法人事務局	
5月28日(日)	第1回理事会	伯耆しあわせの郷	出席者：11名
6月24日(土)	臨時理事会	県立倉吉体育文化会館	出席者：13名
6月24日(土)	2015年度第3回総会	県立倉吉体育文化会館	出席者：36名 委任：109名
6月24日(土) ～25日(日)	第61回鳥取県ろうあ者大会	琴浦町赤碓地域コミュニティーセンター他	参加者：166名
7月23日(土)	第2回理事会	県立倉吉未来中心	出席者：14名
8月6日(日)	鳥取県聴覚障がい者福祉研修会	県立福祉人材研修センター	参加者：60名
9月16日(土)	全国手話検定試験受験者のための学習セミナー	伯耆しあわせの郷	参加者：10名
10月1日(日)	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園	とりぎん文化会館	来場者：約1,800名
10月15日(土)	第12回全国手話検定試験5級	県立倉吉未来中心	参加者：40名
10月15日(土)	第12回全国手話検定試験4級	県立倉吉未来中心	参加者：25名
10月16日(日)	第12回全国手話検定試験3級	県立倉吉未来中心	参加者：29名
10月16日(日)	第12回全国手話検定試験2級	県立倉吉未来中心	参加者：16名
11月5日(日)	2017年度手話フォーラム in よなご	米子コンベンションセンター	参加者：195名
11月18日(土) ～19日(日)	第3回理事会	伯耆しあわせの郷	18日出席者：12名 19日出席者：13名
11月23日(木・祝)	第7回鳥取県ろうあ者将棋大会	伯耆しあわせの郷	参加者：15名
12月3日(日)	幹部養成研修会	伯耆しあわせの郷	参加者：28名
12月3日(日)	臨時総会	伯耆しあわせの郷	参加者：36名 委任：122名
12月10日(日)	第2回鳥取県ろう教育を考える集い	とりぎん文化会館	参加者：80名
1月14日(日)	職場での情報保障を考える集い	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	参加者：27名
1月14日(日)	「聴覚障害者のためのメンタルヘルス」公演学習会	米子市福祉保健総合センターふれあいの里	参加者：118名
3月4日(日)	第33回耳の日記念集会	さざんか会館	参加者：172名
3月17日(土) ～18日(日)	第4回理事会	伯耆しあわせの郷	17日出席者：13名 18日出席者：14名

◎出張報告

8月6日(日)	法人・香通研合同学習会	香川県	石橋事務局長
9月9日(土)	第17回新潟県聴覚障害者大会	新潟県	石橋事務局長
9月21日(日) ～24日(日)	第51回全国ろうあ者体育大会 in 静岡	静岡県	下垣理事長・岡嶋副理事長・石橋事務局長・戸羽理事・前島理事・西山理事・大口職員・福本尚職員・能見職員

9月 25日(月)	手話通訳派遣等事務処理ソフトについて見学・打合せ	埼玉県	石橋事務局長・大口職員
10月 8日(土)	社会講座「防災について学ぶ」手話言語条例に関する学習会	島根県	戸羽理事
12月 17日(日)	聴覚障害者フォーラム in 岡山	岡山県	戸羽理事
1月 20日(土)	アイ・ドラゴン4説明会	岡山県	石橋事務局長・尾田職員
1月 21日(日)	中国地区ろうあ連盟運営委員会	岡山県	岡嶋副理事長・石橋事務局長・戸羽理事・西山理事・徳岡理事・三輪理事
2月 17日(土)	ボランティアリーダー育成研修会	熊本県	石橋事務局長
2月 25日(日)	手話言語・障がい者コミュニケーション促進フォーラム	兵庫県	石橋事務局長

◎会議・行事報告（外部団体等）

4月 7日(金)	鳥取聾学校入学式	県立鳥取聾学校	下垣理事長
4月 8日(土)	中国地区ろうあ連盟監査会	岡山県	岡嶋副理事長（中国ろう連監事）
4月 10日(金)	鳥取聾学校ひまわり分校入学式	県立鳥取聾学校ひまわり分校	下垣理事長
4月 11日(火)	児童発達支援に関するガイドライン策定検討会（厚生労働省）	東京都	石橋事務局長（全日ろう連理事）
4月 11日(火)	障がい者が暮らしやすい地域づくりの基本条例（仮称）策定検討委員会（第4回）	県立図書館	戸羽理事
4月 19日(水)	手話言語法制定推進運動本部	東京都	石橋事務局長（全日ろう連理事）
4月 24日(月)	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園企画運営業務に係る公募型プロポーサル審査会	鳥取県庁	戸羽理事
4月 25日(火)	第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園番組制作および広報業務に係る公募型プロポーサル審査会	鳥取県庁	戸羽理事
5月 9日(火)	第65回全国ろうあ者大会における第32回聴覚障害者写真コンテスト審査会	福岡県	石橋事務局長（全日ろう連理事）
5月 9日(火)	第1回鳥取県障がい者芸術・文化活動推進委員会	ホテルニューオオタニ	前島理事
5月 10日(水)	障害者放送通信機構役員との意見交換	京都府	石橋事務局長（全日ろう連理事）
5月 15日(月)	入門対応テキスト編集委員会	東京都	石橋事務局長（全日ろう連理事）
5月 19日(金)	中国地区ろうあ連盟第1回運営委員会	山口県	岡嶋副理事長（中国地区ろうあ連盟監事）・戸羽理事（中国地区ろうあ連盟理事長）・三輪理事（中国地区ろうあ連盟青年部長）
5月 20日(土)～21日(日)	第64回中国地区ろうあ者大会第9回中国・四国地区ろうあ者体育大会	山口県	戸羽理事（中国地区ろうあ連盟理事長）
5月 23日(火)	児童発達支援に関するガイドライン策定検討会（厚生労働省）	東京都	石橋事務局長（全日ろう連理事）
5月 24日(水)	鳥取県手話施策推進協議会	鳥取県庁	石橋事務局長・尾田職員
5月 26日(金)	CS障害者放送統一機構総会・理事会	大阪府	石橋事務局長（全日ろう連理事）

6月1日(木)	全日本ろうあ連盟第1回理事会	福岡県	石橋事務局長(全日ろう連理事)
6月2日(金) ～3日(土)	全日本ろうあ連盟評議員会	福岡県	岡嶋副理事長・石橋事務局長(全日ろう連理事)・戸羽理事・西山理事・徳岡理事
6月3日(土)	第65回全国ろうあ者大会演劇祭典	福岡県	石橋事務局長(全日ろう連理事)
6月4日(日)	第65回全国ろうあ者大会式典	福岡県	石橋事務局長(全日ろう連理事)
6月5日(月)	ベルギー視察打合せ	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
6月6日(火)	内閣府・厚生労働省・文部科学省表敬訪問	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
6月8日(木) ～9日(火)	全国聴覚障害者情報提供施設協議会2017年度総会及び第13回(通算25回)施設大会	茨城県	石橋事務局長・鳥取県西部聴覚障がい者センター下垣所長・鳥取県中部聴覚障がい者センター戸羽所長
6月13日(火)	鳥取県身体障害者福祉協会評議員会	倉吉市上井公民館	下垣理事長
6月17日(土)	全国手話研修センター評議員会	京都府	石橋事務局長(全日ろう連理事)
6月21日(水)	朝日新聞手話スピーチコンテスト審査会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
6月22日(木)	デフリンピック出場による選手の知事表敬訪問	鳥取県庁	下垣理事長
6月22日(水)	第1回学校評価委員会並びに学校関係者評価委員会	県立鳥取聾学校	岡嶋副理事長
6月22日(木)	障害者放送協議会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
6月23日(金)	第1回全国手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議	鳥取県庁	戸羽理事
6月28日(水)	鳥取県障がい者スポーツ協会平成29年度総会	鳥取県庁	下垣理事長
6月28日(水)	日本財団協議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
7月1日(土)	4団体会議	伯耆しあわせの郷	岡嶋副理事長・戸羽理事
7月8日(土)	第53回全国ろうあ者体育大会の島根県との覚書	島根県	下垣理事長・徳岡理事
7月8日(土) ～9日(日)	全日本ろうあ連盟理事会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
7月10日(月)	中央交渉	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
7月11日(火)	入門対応テキスト編集委員会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
7月13日(木)	朝日新聞手話スピーチコンテスト審査会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
7月13日(木)	平成29年度第1回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会	県立鳥取聾学校ひまわり分校	西山理事
7月20日(木)	CS 障害者放送統一機構臨時総会・理事会	大阪府	石橋事務局長(全日ろう連理事)
7月22日(土)	中国地区ろうあ連盟第1回5県代表者会議	広島県	戸羽理事(中国地区ろうあ連盟)
7月27日(木)	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた第8回オリ・パラ障害者文化芸術ネットワーク会議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
8月2日(水)	全日本ろう者演劇会議との懇談会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)

8月3日(木)	全国ろう学生懇談会との懇談会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
8月10日(木)	第1回鳥取県障害者施策推進協議会	ホテルセントパレス倉吉	諸家理事
8月18日(金) ～20日(日)	第50回全国手話通訳問題研究会～サマーフォーラム in ひろしま～	広島県	石橋事務局長(全日ろう連理事)・戸羽理事・諸家理事
8月19日(土)	2017年度全国福祉担当者会議	広島県	戸羽理事
8月19日(土)	2017年度情報・コミュニケーション担当者会議	広島県	諸家理事
8月21日(月)	第2回全国手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議	鳥取県庁	戸羽理事
8月25日(金) ～27日(日)	第29回ろう教育を考える全国討論集会	山形県	石橋事務局長(全日ろう連理事) 岡嶋副理事長
8月26日(土)	第34回「全国高校生の手話によるスピーチコンテスト」	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
8月29日(火)	CS障害者放送統一機構理事会	大阪府	石橋事務局長(全日ろう連理事)
8月29日(火) ～30日(水)	行政職員手話講習会(京都会場)視察	京都府	戸羽理事・高塚職員・西村職員
8月30日(水)	全国聴覚障害教職員協議会との懇談会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
9月1日(金)	平成29年度県民総合福祉大会	県立倉吉未来中心	下垣理事長
9月2日(土)	第25回中国地区合同手話研修会	県立倉吉未来中心	下垣理事長・戸羽理事(中国地区ろうあ連盟理事長)
9月5日(火)	鳥取県手話施策推進協議会	鳥取県庁	石橋事務局長・尾田職員
9月6日(水)	入門対応テキスト編集委員会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
9月7日(木)	障害者放送協議会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
9月7日(木)～ 9日(土)	第28回全国専従職員研修会及び2017年度出版物対策研究会	岐阜県	戸羽理事・前島理事・須崎職員・西川職員
9月14日(木)	日本耳鼻咽喉科学会との懇談会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
9月21日(木)	第1回視聴覚障害者等向け放送に関する研究会(総務省)	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
9月21日(木) ～24日(日)	第51回全国ろうあ者体育大会 in 静岡	静岡県	下垣理事長・岡嶋副理事長・石橋事務局長・戸羽理事・前島理事・大口職員・福本尚職員・能見職員
10月7日(土)	鳥取聾学校 学校祭	県立鳥取聾学校	下垣理事長
10月19日(木)	第2回視聴覚障害者等向け放送に関する研究会(総務省)	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
10月24日(火)	CS障害者放送統一機構理事会	大阪府	石橋事務局長(全日ろう連理事)
10月25日(水)	第53回全国ろうあ者体育大会バトミントン協会打ち合わせ	鳥取県庁	岡嶋副理事長
10月26日(木)	鳥取県社会福祉審議会	とりぎん文化会館	下垣理事長
10月27日(金)	米子市交通バリアフリー推進委員会	米子市役所	下垣理事長
11月3日(金)	鳥取聾学校ひまわり分校発表会	県立鳥取聾学校ひまわり分校	下垣理事長
11月4日(土)	4団体会議	伯耆しあわせの郷	下垣理事長・岡嶋副理事長・戸羽理事

11月7日(火)	手話を広める知事の会総会、手話言語フォーラム	東京都	下垣理事長・岡嶋副理事長・戸羽理事
11月5日(日) ～14日(火)	第3回世界ろう連盟国際研究大会	ハンガリー	石橋事務局長(全日ろう連理事)
11月15日(火)	第2回鳥取県障がい者芸術・文化活動推進委員会	県立図書館	前島理事
11月16日(木)	第3回視聴覚障害者等向け放送に関する研究会(総務省)	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
11月20日(月) ～21日(火)	行政職員手話講習会(鳥取会場)	鳥取県庁	下垣理事長・石橋事務局長・戸羽理事・西山理事・山岡監事・高塚職員・尾田職員・西村職員・伊藤職員・高田会員
11月24日(金)	障害者放送協議会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
11月24日(金)	第3回全国手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議	鳥取県庁	戸羽理事
11月25日(土) ～26日(日)	中国地区ろうあ連盟秋の集い2017	広島県	戸羽理事(中国地区ろうあ連盟理事長)岡嶋副理事長・石橋事務局長
11月30日(木)	鳥取県身体障がい者福祉大会	米子コンベンションセンター	下垣理事長
12月13日(水)	鳥取県障がい者差別解消支援地域協議会	とりぎん文化会館	石橋事務局長
12月14日(木)	第4回視聴覚障害者等向け放送に関する研究会(総務省)	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
12月18日(月)	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた第9回オリ・パラ障害者文化芸術ネットワーク会議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
12月19日(火)	障害者放送統一機構理事会	大阪府	石橋事務局長(全日ろう連理事)
12月21日(木)	第2回鳥取県障害者施策推進協議会	ホテルセントパレス倉吉	諸家理事
12月22日(金)	朝日新聞手話スピーチコンテスト協議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
1月13日(土)	竹島昭三郎を偲ぶ会	神奈川県	石橋事務局長(全日ろう連理事)
1月13日(土)	4団体会議	伯耆しあわせの郷	下垣理事長・戸羽理事
1月18日(木)	朝日新聞手話スピーチコンテスト協議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
1月18日(木)	バリアフリー法及び関連施策の在り方に関するPT会議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連理事)
1月20日(土)	アイ・ドラゴン4説明会	岡山県	石橋事務局長(全日ろう連理事)戸羽理事(中国地区ろうあ連盟理事長)尾田職員
1月20日(土)	中国地区ろうあ連盟第2回5県代表者会議	岡山県	岡嶋副理事長
1月20日(土)	中国地区ろう文化部委員会	島根県	石橋事務局長(全日ろう連理事)戸羽理事(中国地区ろうあ連盟理事長)
1月21日(日)	中国地区ろうあ連盟第2回運営委員会	岡山県	石橋事務局長(全日ろう連理事)岡嶋副理事長(中国地区ろうあ連盟監事)・戸羽理事(中国地区ろうあ連盟理事長)・三輪理事(中国地区ろうあ連盟青年部長)西山理事・徳岡理事
1月26日(金)	米子市人権教育推進会議	米子市役所	下垣理事長

1月26日(金) ～27日(土)	第13回全国ろうあ者相談員研修会 第22回全国職業安定書手話協力員等研 修会兼ろうあ者労働問題フォーラム	東京都	細田職員
2月6日(火)	NHK放送番組検討委員会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
2月7日(水)	ろう教育を考える協議会 三役会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
2月7日(水)	平成29年度全国高校生手話パフォー マンス甲子園実行委員会	鳥取県庁	下垣理事長
2月8日(木)	鳥取県社会福祉審議会	白兔会館	下垣理事長
2月14日(水)	バリアフリー法及び関連施策の在り方 に関するPT会議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
2月16日(土)	ボランティアリーダー育成研修会	熊本県	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
2月16日(土)	2017年度電話通信サービスのユニバー サル化を考える大学習会	東京都	西山理事・中林職員
2月17日(日)	ボランティアリーダー育成研修会	熊本県	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
2月17日(日)	公明党米子総支部賀詞交歓会	米子ワシントンホテル	下垣理事長
2月19日(月)	手話言語法制定推進運動本部会議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
2月20日(火)	障害者放送統一機構理事会	大阪府	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
2月20日(火)	米子市交通バリアフリー推進協議会	米子市役所	下垣理事長
2月20日(火)	第4回全国手話パフォーマンス甲子園 実行委員会企画推進会議	鳥取県庁	戸羽理事
2月24日(土)	全国手話研修センター評議員会	京都府	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
2月27日(火)	バリアフリー法及び関連施策の在り方 に関するPT会議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
3月1日(木)	平成29年度第2回学校評議員会並びに 学校関係者評価委員会	県立鳥取聾学校ひまわ り分校	西山理事
3月8日(木)	日本民間放送連盟・NHKとの意見交換	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
3月8日(木)	第3回鳥取県障害者施策推進協議会	ホテルセントパレス倉吉	諸家理事
3月9日(金)	全日本ろうあ連盟教育・文化委員会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
3月10日(土) ～11(日)	2017年度全日本ろうあ連盟理事会	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
3月19日(月)	障害者放送統一機構理事会	大阪府	石橋事務局長(全日ろう連 理事)
3月20日(火)	平成29年度鳥取県福祉のまちづくり推 進協議会	鳥取県庁	高塚職員
3月22日(木)	2020年東京オリンピック・パラリンピ ックに向けた第10回オリ・パラ障害者 文化芸術ネットワーク会議	東京都	石橋事務局長(全日ろう連 理事)